

複言語・複文化教育と
日韓共生の可能性

2023年度

第17回日韓大学生国際交流セミナー報告書
(複言語・複文化教育プログラム)

主催 お茶の水女子大学日本語教育コース
グローバル文化学環・国際教育センター
協力 韓国・釜山外国語大学校



日本語教育実習修了式（9月15日）



教壇実習



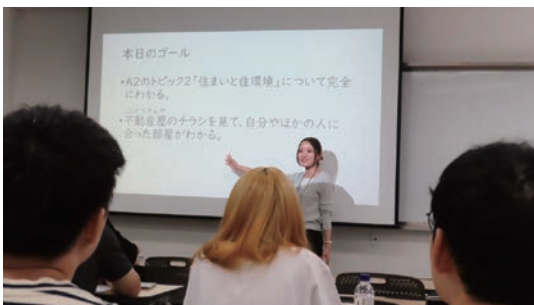
教壇実習



教壇実習



教壇実習



教壇実習



日韓学生フォーラム（9月15日）

目次

第 17 回日韓大学生国際交流セミナー概要（森山新・清水郷美）	1
参加学生の修了レポート①	4
参加学生の修了レポート②	6
参加学生の修了レポート③	9
参加学生の修了レポート④	12
参加学生の修了レポート⑤	15
資料①：学生が作成した教案	18
資料②：日韓学生フォーラム講演資料（森山新）	68
総評①：実習授業を見学して（清水郷美）	69
総評②：日韓がともに生きる起点となれ（森山新）	70
編集後記（森山新）	72

第 17 回日韓大学生国際交流セミナー概要

～複言語・複文化教育と東アジア共生の可能性～

森山新・清水郷美（お茶の水女子大学）

1. 概要

日時 2023 年 8 月 7 日（月）～9 月 16 日（土）

場所 釜山外国語大学校（大韓民国釜山広域市）

主催 お茶の水女子大学国際教育センター・グローバル文化学環・日本語教育コース

協力 釜山外国語大学校

2004 年に第 1 回が行われ、今回が第 17 回となる日韓大学生国際交流セミナーは、本学から 5 名の学生が参加し、韓国の協定校である釜山外国語大学校で実施された。第 11 回までは同じく協定校である同徳女子大学校との間で、日韓両国間にまたがる諸問題を取り上げ、両国の学生が話し合いを通じ解決をみぞすという形で実施されて来た。そして戦後 70 年、日韓国交回復 50 周年を迎えた 2015 年度の第 10 回セミナーにおいて、両国の学生が戦後 70 年日韓学生共同宣言を発表、両国が過去を直視し、互いが納得のいく議論の下、真の未来志向の関係を構築するまでに至った。また 12 月には日韓文化交流基金の助成のもと、35 名の学生を連れて韓国の同徳女子大学校、啓明大学校、釜山外国語大学校を訪れ、戦後 70 年を記念し、4 大学合わせて 150 名近くの学生が集い、国際学生フォーラムを開催、日韓両国の過去（同徳女子大）、現在（啓明大）、そして未来（釜山外大）を語る場を持つことができた。

このような成果のもとで、2016 年度は対立から共生へ向けた新たな段階への過渡期として、これまで同様、同徳女子大学校との間で第 11 回セミナーを実施する一方、同年に協定を締結した釜山外国語大学校が実施する韓国語・韓国文化を学ぶプログラム（韓国語短期研修）と、日本語・日本文化を教えるプログラム（日本語教育実習）とを合体することで、新たな理念のもと、「複言語・複文化プログラム」を構築し、日韓大学生国際交流セミナーは言語・文化を越えたシティズンシップ、国家を越えたインターナショナルなアイデンティティ形成、そしてそれに基づいた東アジアの共生に向け、より高い次元に向かってさらなる一歩を踏み出した。

今回はその第 7 回目として、5 名の学生が本プログラムに参加した。8 月 7 日から 26 日までの 3 週間は韓国語研修に参加、韓国語・韓国文化を学ぶとともに、決定した指導教員とのコンタクトを開始し、後半の日本語教育実習に備えた。9 月 3 日から 15 日まではそれぞれの指導教員のもと、日本語教育実習に参加、日本語と日本文化を教える体験をした。9 月 15 日にはセミナーの集大成として、「第 4 回日韓学生フォーラム」を開催し、日韓は対立から共生へ向けての議論を行った。

なお、本プログラムは、学部生は「多文化交流実習 I・II」または「日本語教育法演習 I・II」を履修して参加した。4 月に参加者を募集し、5 月～7 月には毎週事前学習を行った。3 か月間の事前学習では、本複言語・複文化プログラムの理念である「複言語・複文化主義（plurilingualism, pluriculturalism）」、「インターカルチュラル・シティズンシップ教育（intercultural citizenship education）」としての外国語教育を学び、その上で釜山外国語大学が採用している「ヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for

Languages)」や「Can-do ステートメント」を紹介、それらに基づいた具体的な教案作成の方法などを学び、実際の教壇実習に臨んだ。

残念ながら東アジアにはヨーロッパのようなともに生きるための地域連合体もなく、それをめざすための教育理念も教育政策もなく、今日もなお日韓の過去は克服できずにいる。そのような中、両国学生たちは、これまでと変わらぬ友好的な姿勢で交流を行い、かつ戦後最悪とも言える日韓関係改善に向け真摯に対話や交流を行った。

釜山外国語大学の協力のもと、本学が歩み始めた本プログラムが、対立の多い日韓、そして東アジアに、和解と共生をもたらす第一歩となれば幸いである。

なお本プログラムは、釜山外国語大学校の多大なるご支援とご協力のほか、日本学生支援機構の短期派遣プログラム、およびお茶の水女子大学奨学金などの支援を受け、学生が派遣されている。この場を借りて心から感謝の意を表したい。

2. 日程表

月日（曜日）	プログラム	
4月10日（月）	説明会・参加者募集	
	事前学習（日本語教育法Ⅰ／多文化交流実習Ⅰ）開始	
6月14日（水）	参加者顔合わせ、事務連絡、実習説明会	
8月7日（月）	訪韓・入寮	
8月8日（火）	韓国語研修開講式 韓国語授業開始（～24日）	学生交流会 キャンパスツアー
8月9日（水）	韓国語授業	歓迎晩餐
8月10日（木）	韓国語授業	クルーズツアー
8月11日（金）	韓国語授業	
8月14日（月）	韓国語授業	
8月15日（火）	韓国語授業	学生交流会
8月16日（水）	韓国語授業	
8月17日（木）	韓国語授業	ロッテワールド
8月18日（金）	韓国語授業	韓国料理体験
8月21日（月）	韓国語授業	学生交流会
8月22日（火）	韓国語授業	慶州旅行
8月23日（水）	韓国語授業	
8月24日（木）	韓国語研修終了式	送別会、カリグラフィ
8月29日（火）	自主学習・指導教員との事前ミーティング（～9月1日）	
9月2日（土）	京都外国語大学および近畿大学からの実習生到着	
9月3日（日）	日本語教育実習オリエンテーション	
9月4日（月）	授業見学開始 教壇実習開始（～15日）	
9月15日（金）	日本語教育実習修了式	日韓学生フォーラム 懇親会
9月16日（土）	帰国の途へ	
9月20日（水）	参加者報告書提出	

3. 参加者

参加者	所属・学年	韓国語 クラス	日本語 クラス	実習指導 担当教員
A	言語文化学科（グロ文）3年	第15組	B1-1	三國喜保子
B	言語文化学科（日文）3年	第1組	B2-1	松浦恵子
C	言語文化学科（グロ文）2年	第10組	A2	柴田文武
D	言語文化学科（グロ文）2年	第2組	B1-1	澤井亮介
E	人文科学科（グロ文）2年	第4組	B1-1	二色博樹

注) 韓国語研修クラスは全16組。初級から上級に分かれている。

4. 日本語教壇実習日程

氏名	9月11日 (月)	9月12日 (火)	9月13日 (水)	9月14日 (木)	9月15日 (金)
A	15:00-16:50			16:00-17:50	
B			14:00-15:50	15:00-16:50	
C	10:00-11:50			12:00-13:50	
D		15:00-16:50		15:00-16:50	
E		14:00-15:50		13:00-14:50	

注) 担当以外の授業見学、及び指導教員との事前・事後打ち合わせや模擬授業を除く

5. スタッフ

大学	名前	所属	役職
釜山外国語大学校	諏訪昭宏	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	松浦恵子	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	三國喜保子	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	二色博樹	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	澤井亮佑	日本語創意融合学部	教員
釜山外国語大学校	柴田文武	日本語創意融合学部	教員
お茶の水女子大学	森山 新	グローバル文化学環／日本語教育コース	教員
お茶の水女子大学	清水郷美	大学院人間文化創成科学研究科	院生(TA)

自分の中の複文化・複言語能力と 日本語教育について考える

1. 自身の教壇実習について

今回の教壇実習では、日本語 B1-1 のクラスで「からだと健康」に関するトピックを扱い、教育実習を実施した。学期が始まって間もない時期の授業を2回分担当させていただくという滅多にない経験が出来る期待半分、貴重な授業時間をいただくことに対する責任感半分で、緊張感のある2週間だった。本レポートでは、CEFRの観点と自身の教壇実習をふりかえりながら、よかった点と反省点を分析していく。

まず、今回の実習では教案作成から授業資料準備までを通して、CEFRの観点にそった授業づくりを心掛けた。課題から教室活動を組み立てる、という方向性はもちろん、自分が設定した課題が学習者にとって身近でイメージしやすいものになっているかどうか、Can-doをふまえて学習者が一つ一つの活動の意義を理解できる流れをつくらせているかどうかを常に判断軸においた。Can-doは私が前半の短期研修で体験したことをベースに作成し、場面設定を理解するための導入やCan-doの共有までは、流れとしてとても飲み込みやすくていいと思う。しかし、その後の語彙と表現導入をどのように行うかが難しかった。初日の授業ではCan-doを確認したのち、今回の活動で扱う語彙と表現を、場面に即した会話よりも先に提示して先に学習した。まず初めに新出単語などを理解していた方がのちのワークが順調に進むだろうと考えての順番だったのだが、その後自分で文章をつくるワークを行った際、授業で扱った単語のみを使用する学生がとても多かった。「自分が」課題を達成するときのことを想像し、それに必要な言語知識とは何かを考え進んでそれを獲得してもらうというCEFRの観点に照らし合わせると、新出の単語や表現を先に取り出して学ぶのは適切な順番ではなかった可能性があった。その反省を踏まえて、2回目の授業では、まずモデル文章を導入し、新しい語彙や表現を読み取ったのちに文型練習をした。そうすることで、より活動内容を自分の文脈に落とし込んで考えることができると考えたからだ。結果として、自分の体質など実体験に合わせた語彙を調べて使ったり、授業で扱ってはいないが知っている表現を使ったりできる学習者が少し増えた。ただ、やはり表現や語彙が分からない状態なので、モデル会話の内容理解にかける時間は想定よりもだいぶ増えてしまった。このように、反省点を次の授業の修正に活かすことができたのは良かったが、全ての課題をクリアしながらきれいに修正することは出来ず、授業づくりの難しさを実感することとなった。

また、活動の意図をCEFRの観点に沿って考えていても、指示の言葉選びを間違えて、自分が意図した通りに活動方法が伝わらなかったこともあった。いくら教案の内容をつめても、学習者の反応や自分の細かな振る舞いなどの「事前に予測することができない、実際にやってみなければ分からないこと」に対応するちからが必要だと感じた。

2. CEFRを用いた第二言語教育について

この一か月強の実習では、前半の韓国語短期研修や普段の生活を通して自分の中の複言語・複文化的能力に気づき、後半の日本語教育実習を通してそれを伸ばすための教育とは何かについて考えた。この一か月間、特に後半の期間は韓国語のみに囲まれて生活をしてきたが、基本的な書きことばの熟語などは読めても理解することができず、苦勞することがあった。ただ、書きことばは漢語であるものが多く、漢字の読み方にハンゲルをあては

めて意味を類推することで内容を理解できることが何度かあった。また、お店で注文する際なども韓国語をどうにか駆使しながら現地の方とコミュニケーションをとろうと努力していたが、相手が外国人だと気づくと率先して英語を使って話しかけてくる方が多くいらっしまった。そういったときは英語と韓国語を混ぜながらコミュニケーションをとった。このように言語能力が不足した状態でも、今ある複言語能力を駆使して状況に応じた対応をする機会が多く、それが特別なことではないということに気づくことが出来た。これまでに私が経験してきた言語学習では、まず 100%の言語運用能力を身につけることが求められ、そうすればやりたいタスクも達成できるという方向性をとっていた。このような学習方法では、まず言語能力の向上が目標になるが、各自が課題に向き合い「自分が」それを達成するために何が必要かを考える学習形式のほうが自律学習につながりやすく、より身近な言語能力を得ることにつながるのではないか。また、これは後半の実習をしながら気づいたことだが、同じレベルのクラスでも漢字が得意な人、話しことばが得意な人、タイピングが速い人など各自の得意分野とそのレベルは割とバラつきがある印象だった。そのため、授業ではグループワークやペアワークを積極的に活用し、最大限お互い協力し合うように指示した。このようにタスクを達成するために様々な能力値の人々が協力し合うことを通して、社会において課題を達成するためのプロセスに必要な学びを得ることが出来るだろう。

3. 前半に韓国語を学んだことについて

前半の韓国語短期研修では、韓国語学習者として3週間日常生活を送った。この間、直接法の授業を受けながら「外国語学習者」としての自分がどのような部分に着目して授業を受けるのか、常に振り返りながら過ごした。私が今回、会話による活動をメインとするクラスに配属されたということもあり、先生方は休み時間の際も積極的に韓国語で話しかけ、韓国語で雑談する機会をつくってくださった。研修期間中最も参考になったのは、教科書の文法もそうだが、そういった先生方の指示や雑談のフレーズである。これまで学習してきた文型やフレーズに関する教科書の例文以外の使い方を見聞きすることを通して、自分の知識が広がる実感がしてとても面白かった。韓国語に不慣れながらも生活者として滞在しながら、より生活に密着した実践的な韓国語に触れることができるところが直接法の授業の長所だと感じた。また、先生方は文法や語彙の導入の際に韓国の食文化や観光地などの写真を提示し、文化的差異について生徒が知っていることを発言する機会を多数設けていらっしまったので、授業内容に関心を持って学習を進めることができた。導入内容を工夫し学習者の関心をいかにひくことができるかも、後半の日本語教育授業をつくるうえで着目する必要がある点だと学んだ。

日本語教育実習の準備をしながらこの短期研修に参加した3週間の経験を何度も思い出すことがあった。研修時に自分が先生のことばをどのように観察していたか、活動の指示を受けてどんな印象を抱いたかなど「外国語学習者」としての自分の実感が、この実習全体にとって大変重要だったと後から気づいた。これは後半の日本語教育実習のみに参加していたら気づけないことだったのであろう。また、前半の研修期間があったからこそ、生活者として韓国に少し長い期間親しみ、病院にかかったり、買い出しをしたりと様々な経験をすることができた。それらを通して何かしらの言語知識を得た経験が、教案の Can-do づくりにも活きた。もともと、韓国語や韓国文化を現地でもっと深く学びたいという理由からこの短期研修に参加したが、韓国で暮らしながら言語活動と社会とのつながりを身をもって学ぶことで後半の実習に向けた学びも同時に得ることができ、とても充実していた。

実習を終えて

1. 自身の教壇実習について

私は日本語 B2-1 のトピック 2「住まいと住環境」の授業を担当した。教壇実習を行った 4 時間のうち、1 時間を理解、2 時間をやりとり、1 時間を表現という時間配分で、それぞれの Can-do が達成できるよう授業を構築した。

CEFR の観点から授業を振り返ると、成功していた面と失敗していた面の両方があると感じた。成功していた面は、それぞれの活動における場面設定である。CEFR を参照した授業は、特定の文法や単語を教えるための授業ではなく、Can-do を達成するための授業となる。学習者がそれぞれの Can-do を達成できるような、かつ現実に起こり得そうな場面設定を行うことが求められるが、それに関してはある程度成功していたと思う。しかし、その場面において Can-do を達成するための活動や、授業の流れに関しては、特に理解においては失敗していた。失敗していたと考える点はいくつかある。

まず、授業の導入としての「今自分が住んでいる家の様子や、改善したい点についてペアで話す」という活動を設定したことである。この活動は、一つ前のレベルである B1-2 のトピック 2 の Can-do の内容の復習と、授業の導入を兼ねて設定したものである。しかし、トピック自体に興味を持ってもらい、今回の Can-do を達成するための導入としては不十分であった。学習者の日本語のレベルを考慮しても不要な活動であった。そして、理解のメインの活動である「記事を読む」活動も失敗していた。まず、読んでもらう記事が少し長く、学習者にとって理解が難しかった単語が、私の予想外の部分で多く存在していた。そのため、当初の予定よりも理解の活動の時間が 30 分ほど長くなってしまい、更に私が生徒に単語を説明する時間ばかりになってしまった。学習者が意欲的に、自発的に学ぶのではなく、教師が生徒に教えるという構造になってしまったのだ。原因としては理解の Can-do には「記事をどの程度まで理解できれば良いのか」ということが書かれておらず、自分の中でどの程度までの理解が求められているかを明確にできていなかったこと、学習者のことを知らなかったために個人のレベルや学習上の困難な点が予想できていなかったことが考えられる。原因には、私の経験や知識では考えが及ばない部分が多いと思うが、だとしても授業の仕方を工夫する、例えば学習者自身にわからない単語の意味を調べさせ、詳しく説明するのは重要な単語だけにとどめる、などが出来れば、起こらなかった失敗であると考えられる。

やりとり・表現の活動は、時間が短くなってしまったことを除けば、大枠は成功であったと考える。しかし、表現の活動では場面設定や目標を生徒と共有し、意識してもらうことが上手くできず、Can-do の達成ができなかった生徒が出てしまった。活動の指示や導入の際に、私が詳しい場面設定や目標をうまく伝えることが出来なかったためである。

教壇実習を通し、CEFR を参照にした授業を作り上げることの難しさを改めて実感した。事前授業としてお茶大で模擬授業を行ってはいるものの、日本人学生を対象に、グループで 50 分の授業を作り上げるだけでは CEFR を理解し、実践に移すには不十分であり、おままと程度のレベルでしかなかったのだと実習を通して実感した。

2. CEFR を用いた第二言語教育について

今回の教壇実習を通して、CEFR を参照した第二言語教育の良さとともに、CEFR の考えをそのまま教室に用いることの難しさも実感した。CEFR を参照した第二言語教育の良さとしては、例えば、学習者自身が自身の状況や言いたいことに合わせて学習する単語を選

んだり、使ったりできることである。CEFR を参照していない授業では、教えるべき項目として単語や文法が存在するため、ある種の型にはまったものしか学ぶことが出来ず、特に低いレベルでは自分の表現したいことを表現することはかなわないことが多い。しかし、Can-do を達成するための授業構成であれば、学習者自身が言いたいことを考え、何を言うか選ぶことができているように感じた。

しかし、難しい点も多くあった。例えば自身の教壇実習では、理解の活動において単語の意味を説明しすぎてしまったことが CEFR の観点からは失敗であったと考えた。しかし、授業後に生徒にとつたアンケートでは、「説明するとき、例を説明してくれて知りやすかった」「言葉の説明をよくしてくださって、本文の内容が理解しやすかった」という声が半数以上の生徒からあがっていた。教師からの説明が長すぎたというのは、CEFR の観点からは失敗であったが、学生からは好評であったのだ。ほかにも、大学である以上、テストや評価が存在する。その中にはペーパーテストも含まれるため、「テストに出る部分」を設定する必要がある。なので、学習者にとっては不要だと感じる単語でも教えたり、学習したりする必要がある場面がどうしても発生してしまう。

CEFR は第二言語教育を行う上で重要な部分を多く持っていると思うし、生徒にとっても教師にとっても多くの学びが得られるものである。しかし、CEFR のみを用いるのでは不十分な場面が多く、それぞれの教室や生徒に合わせて、CEFR を参照する部分としない部分のどちらも含めた授業が良いのではないかと考える。

3. 前半に韓国語を学んだことについて

実習の前半は、3 週間の韓国語研修に参加した。この研修は、私にとって困難が多いものとなった。研修では、韓国語のレベル別にクラスが編成されていたが、そのクラスのレベルが私に合っていなかった。私はハングルの読みも危うい状態で研修に参加したが、当初のクラスは生徒の殆どがアイドルやメディアなどを通じて韓国語に触れていたり、学習したりしていた。そのため、授業のスピードについていけず、深夜まで授業の予習復習を行っても、授業についていけなかった。クラス変更は原則受け付けていないという案内があったことあり、韓国語を学習したいと思う気持ちがこの時点で消え失せてしまった。結局はクラスを変更し、適切なレベルの授業への参加が叶ったが、挫折を乗り越え、韓国語をちゃんと学習したいと思わせるものがなく「授業をこなす」という認識となった。その後インフルエンザにかかり、授業はオンライン参加に、文化体験の一部は不参加となった。クラス変更と、オンラインでの参加によって、変更した後のクラスにもなじむ時間があまりなく、全てに思い入れを持たずに韓国語研修を終えることになった。

正直、散々だったと断言できる韓国語研修だが、得られたものも確かにあった。それは、適切なクラス編成の大切さ、授業に置いていかれる感覚を体感したことである。まず、今回の釜山外大での韓国語研修は、プレイメントテストがあったにも関わらず、適切なクラス編成がなされていなかったと思う。適切なクラス編成がなされないと、学習したいと思う気持ちや授業に積極的に参加したいと思う気持ちがなくなってしまうのだと実感した。言語を習得するための授業が、言語を習得したいと思わせる気持ちを殺してしまう結果になりうるのだ。そして、授業に置いていかれる感覚を味わったことは、韓国語研修における最も大きな収穫だった。今までの人生で、授業に完全に置いていかれることはなかった。そのため、このような学習者の気持ちや悩みが上手く想像できず、「そのような学習者がいた場合は個別に対処すればよい」という程度の認識でいた。しかし、今回の研修でその立場に立ったことによって、そのような学習者にとって教室がどんな存在であるか、個別の対処の限界とされたときの気持ちなどが想像できるようになった。実際、教壇実習を行う際も、この学びをいかし、授業に置いていかれる学習者が出来るだけいないようにする授

業構成や振る舞いを心掛けることができたと感じている。そしてこの学びは、教壇実習や言語の授業の枠を飛び越えて、「人にもものを教える」という行為を行う際にも生かせるものであると考える。日本では、小学校に日本語ボランティアとして参加しているため、その場でも学びを生かせるようにしたい。

さらに、韓国語の学習を通じて文化を学ぶことが出来たことも、韓国語研修の学びであった。その学びを直接授業に生かす場面はなかったものの、授業を作っていくうえで多くの助けとなったのではないかと考えている。韓国語のレベルが低いこともあり、複言語主義の観点や考えを意識したりすることはなかったが、もっと韓国語のレベルが高ければ、その機会もあったのではないかと考える。

4. 現地の人との交流

実習期間中は、お店の店員さんや大学のスタッフはもちろん、チューターとしてついてくれた学生や、お茶大に留学していた学生など、数多くの韓国人と交流があった。交流を通じて、まず、日本人に対して優しい人が多いことにとても驚いた。日本と韓国の関係は決して良いものではなく、悲しい歴史が確かに存在している。現在も、反日・嫌韓の気持ちをもつ人も少なくない。韓国に行くということは、反日の感情を向けられる対象になるのではと考えていた。しかし、実際はそんなことはなく、むしろその逆で、日本人だとわかるととても優しくしてくれたり、日本語で話したりしてもらえた。一度だけ岳岳・竹島の問題について直接言われたり（どんなことを言っているかは分からなかったが、岳岳・竹島についての話をしていることだけ分かった）、福島の問題についてのポスターなどを見かけたりすることはあったが、優しくしてくれる、親切にしてくれる人の方が圧倒的に多かった。これらの交流は、韓国という国自体をより好きになる大きなきっかけになった。そしてなにより、親切にしてもらえばしてもらおうほど、自身の語学力のなさや文化への理解のなさを悔しく思い、より韓国語や韓国について知りたいと思わせてくれた。韓国語研修や日本語教育実習はかなりつらく、苦しい思いをすることもあった。しかし、このような交流が頑張る原動力になったと感じる。それは帰国した今も同じで、韓国でもらった優しさを忘れず、どのように還元していくか、自身の学習につなげられるかを考えるきっかけになっている。

この留学のメインは韓国語研修と日本語教育実習であるが、現地の人との交流でとても多くの学びや勇気を得たと感じている。これこそ留学する醍醐味のひとつであり、これからの韓国と日本の関係を考える上でも、大切なものなのではないかと感じた。

CEFR の実践を通して

1. 自身の教壇実習について

1 回目の教壇実習では、『自分の家や部屋について説明できるようになる』という目標を設定した。しかし、CEFR の観点から考えると、それは抽象的すぎる目標だったのではないだろうか。私は、釜山外国語大学が採用している Can-do を 2 回の教壇実習で達成することに気を取られ過ぎていた。とにかく Can-do を達成するためには、この単語が必要だとか、この文型が必要だとか、そういう単純な考えで教案を作成してしてしまったのだ。しかし、釜山外国語大学の『レベル別総合日本語科目(通称、レベル別授業)とは』(2018)でも述べられているように、『Can-do シラバスの授業では、学習者にとって身近で、十分起こりうる場面や状況を設定』する必要がある。目標は授業の最初で提示し生徒の興味を引く、非常に重要なものである。目標次第で、生徒のやる気を左右すると言っても過言ではない。だからこそ、生徒がやる気を出すような、達成したいと思えるような目標を提示する必要があるのだ。それが私の第一回目の目標のように『自分の家や部屋について説明できるようになる』などというあいまいなものでは、きっと生徒はこれから何を学習し、この授業を通し何ができるようになるのか掴みにくかっただろうし、目標を掴めないまま進んでいく授業自体も退屈に感じたに違いない。例えば、『友達が自分の家に遊びに来ることになりました。友達が道に迷わないよう、自分の家や家の周りについて分かりやすく説明しましょう』など、より具体的な状況を設定し、活動を行ったり、目標を示したりすべきだったと、振り返って思う。

CEFR の 4 つのコミュニケーション言語活動のうち、仲介活動を取り入れていなかったことに、実習後気が付いた。私自身実際に海外に行ってみてわかったことだが、日常で外国語を使用する際は、圧倒的に仲介活動が多い。私たち自身、韓国の街中で日本語が分かる韓国人に何度も助けってもらったし、時には自分が、韓国語が分からない友達と韓国人を仲介することもあった。私自身、韓国語のレベルで言えば、今回担当したクラスと同じ A2 くらいではないかと思うが、それでも十分仲介活動は可能だったわけである。それを身をもって知っていたにも関わらず、授業に仲介活動を取り入れることを忘れていた。行動中心アプローチを採用している CEFR に則った授業を行っているのだから、より社会で起こり得る活動である仲介活動を組み込むべきであった。例えば 2 回目の教壇実習の最後に行った『自分たちの家・部屋を紹介しよう』という活動は、『日本人の友達が韓国で暮らす家を探しています。しかし友達は韓国語が分からないので、自分たちがおすすめの家を紹介してあげることになりました。友達が住みたいと思うような、紹介の文を考えましょう』というように、仲介活動として行えば良かった。

『コンビニ』という単語を説明する際は、日本のコンビニと韓国のコンビニの違いを説明したり、間取りを説明する際は『和室』という日本特有の概念を紹介したり、単語と絡めて文化知識も提供することができた。これは、CEFR が学習者の能力として挙げる一般的能力のうち、叙述的知識の習得に繋がる。しかし、文化知識も教えなければという気持ちばかりが先走り、文法や単語の話をしていただけなのに流れを無視して突然文化の話をしてしまい、生徒も多少混乱していたように見えた。話の流れを考え、上手く文化の話に導入するような授業構成を考えていく必要があると感じた。

2. CEFR を用いた第二言語教育について

行動中心アプローチを採用している CEFR では、生徒も主体的に学ぶことができる上、

文化知識も身に着けながら学んでいるため、その言語を使用する国に対する愛着や興味も湧くようになって感じた。私は今まで、CEFR を用いていない第二言語教育をいくつか受けてきた。その中には、ロールプレイを導入している授業もあり、活発に授業を受けることはできたものの、何となくそのロールプレイを他人事としか考えられず、主体的に取り組むことはできなかった。今思い返せばそれは、ロールプレイが学習者に起こり得る状況ではない設定のものだったからなのではないだろうか。そのロールプレイは、文法や語彙を身に着けるためには役立つが、決して社会で役立つことは無い。それでは、生徒が主体的になれなくて当然だ。私が教壇実習で行った活動の中には、実際に社会で役立つようなものも、あまり役立たなそうなものもあった（行動中心アプローチをすべきだとは分かっているけれども、どうしても A2 レベルだと行える活動に限りがあるため、多少社会では役立たなそうな活動も行わざるを得なかった）。しかし、生徒が活動する様子を見てみると、やはり『自分の家を紹介してみよう』など、実際社会で役立つような活動の時のほうが、生き生きと主体的に活動できているように感じた。一方、生徒の主体性に任せた活動は、生徒のレベルによって完成する文にばらつきが出てしまうため、教師は評価することが難しくなる。でも、直前に授業で習った文法や語彙だけを使用するのではなく、自分が生きているうえで身に着けた様々な日本語の知識を活用して文を作るという作業こそ、実際に社会で求められるものだ。教師も、評価が難しいからと言って使う文法を誘導するような、生徒を押さえつける活動ではなく、自由に活動させ、評価なども柔軟に対応していく必要があると感じた。そうすることによって、「社会で行動する者」を育てるという CEFR の教育目的は達成される。また、文化知識を授業内で提供することで、その言語に親しみが湧くとも考えられる。私は今まで、第二言語教育の中で文化知識を教えられた経験はほとんどない。そのため、どこか学習中の言語に対し距離があり、親しみや愛着が持てなかった。しかし、私が行った教壇実習では文化知識も教えることで、生徒は日本により興味を持ってくれたように感じたし、授業中に生徒に配ったフリーズドライのみそ汁なども、予期せず日本文化に触れる良い機会となったように感じる。味噌汁を配るという発想は、前半の韓国語研修で先生が時々ソナムル（プレゼント）をくれたことが、ささやかながら生徒のやる気に繋がり、場も盛り上がったことから刺激を受け思いついた。しかし、教師とは言えあくまで実習中だった私には生徒に渡せるものが無く、日本から持ってきて結局食べることのなかった味噌汁を、持って帰るのも面倒だし、生徒に配るソナムルとして丁度良いのではないかと軽く考えていただけだった。しかし、生徒にとってはそれも日本文化に触れる良い機会となったようで、休み時間には、配布した味噌汁、『あさげ』『ひるげ』『ゆうげ』の違いを聞かれ、そこから味噌にも地域ごとに種類があることなど、日本の文化を紹介することができた。生徒たちは、私のつたない韓国語の説明でも、興味津々で耳を傾けてくれている様子だった。正直、私も教壇実習を行う前までは、文化知識を教えるということの重要性を、あまり理解していなかったように思う。でも実践してみると、そのように授業中、ささやかながら異文化と接することで、生徒は言語そのものや、その言語を持つ国への新たな視点からの興味が湧いていたようだった。それはつまり、異文化に寛容な姿勢を育成することにも繋がる。文化知識と言語知識を結び付けて考え、文化知識を教えることも重要視する CEFR による教育は、異なる文化、異なる他者に対し寛容な姿勢を育み、異なる他者とともに生きる市民を育てる、という目的を、しっかりと果たしていることを実感することができた。

以上のように、CEFR に則った教育を実践することで、「社会で行動する者」を育て、異なる他者とともに生きる市民を育てる、CEFR の目的を達成できることを実感することができた。

3. 前半に韓国語を学んだことについて

韓国語を学んだことによって、机間巡視の際、生徒からの質問に韓国語で答えることができたり、休み時間中の生徒との雑談で盛り上がりやすかったりできた。日本語を学ぶ教室であるからと言って、教室内で日本語しか使用しないといた状況は、決して複言語主義とは言えない。学習者が今まで身に付けてきた母国語での会話スキルを活かすことのない空間にならないよう、柔軟に対応することができた。

4. 実習の前から韓国で生活したことについて

同じ実習に参加した大学よりも、長い間韓国で生活していたからこそ、教えられることが多かったように思う。例えば、日本で言う「アパート」「マンション」といった区別が韓国には無く、全て「アパート」であることや、韓国のコンビニは日本とは違いトイレや駐車場が無いことなど。韓国で実際に生活していたからこそ、気が付ける日本との差異があった。もし、このような差異に気付くことのないまま教壇実習を行っていたら、生徒が今まで身に付けてきた韓国の文化知識と、教師である私が身に付けてきた日本の文化知識との間に齟齬が生じ、生徒にとって分かりにくい授業になっていたに違いない。日本語教師には、生徒の母国について知ろうとする姿勢が重要なのだと気が付いた。

<参考文献>

釜山外国語大学 (2018) レベル別総合日本語科目とは (修正済) 2018 (5). PDF 版, p.1

釜山外国語大学での各実習における体験と得たもの

1. 自身の教壇実習について

まずは1回目の教壇実習について振り返っていく。1回目の教壇実習では、「自分と身近な人々」というテーマで、やりとりと表現の分野について授業を行った。授業の前半では家族の紹介について、まず私自身の家族についての紹介、次にアニメ『サザエさん』を例に出して家族の紹介や言い方を学び、最後に生徒自身の家族について紹介するターンを設けた。そして、授業の後半では、自分の憧れの人や好きな人を紹介するため、私自身の好きな人を紹介し、その文章から作文のためのポイントをグループで確認、全体で解説し、最後はそれぞれ自分の好きな人についての作文をしてもらった。

1回目の授業では、行動中心アプローチを実行するため、基本の活動をグループワークとプリント記入とし、生徒の積極的な学習行動を促進した。B1 レベルということで、身近な話題を取り扱いたいと考え、家族と自分の好きな人を題材として選び、また紹介するという行為は普段出会う場面であると考えたため、これらを授業の軸とすることを決めた。1回目の授業の良かった点としては、まだ顔を合わせて間もないのに、特に前半部分で、グループ活動の際に生徒たちが活発に話し合ってくれたところである。反省点としては、前半と後半の接続が悪いところ、この授業内での目標がはっきり示されておらず、授業に整合性がないこと、そして後半の作文が B1 レベルには難しかったということが挙げられる。改善案として、授業内ではっきりと目標を示すこと、教案の時点で授業を通してストーリー性を持たせ、前後の繋がりに整合性を持たせること、そして出す課題のレベルを下げるか、もしくはもっと構造化して文法的な説明を取り入れることを考えた。これらを踏まえ、2回目の授業の教案を作り直した。

次に、2回目の教壇実習について振り返っていく。2回目の教壇実習では、「住まいと住環境」というテーマで、理解の分野について授業を行った。授業全体の目標は、「日本で一人暮らしをすることになったら住みたい家を説明することができる」と設定した。授業の前半では、1回目の授業で用いたアニメ『サザエさん』の、磯野家一家が住む家の3DCG映像とプリントを使って家の構造を説明し、異なる2つの間取り図を比較しメリットとデメリットなどについて話し合ってもらった。授業の後半では、最初に私が住んでいる家についてのリスニングをし、次に日本の大学生が家を選ぶ際に重視する条件ランキングを当てることと、最後にその条件を元に自分が住みたい家がどのような家か考えてもらうということをした。

2回目の授業でも1回目の授業と同様に、行動中心アプローチを実行するため、基本の活動をグループワークとプリント記入とし、生徒の積極的な学習行動を促進した。また、身近な題材として、興味を持ちながら授業に参加させることをねらい、「大学生の」家の条件ランキングを持ってきた。これは結果的にとても盛り上がり、韓国と日本の文化の違いを知るきっかけにもなったため、良かった点だと言える。しかしその反面、少し私が喋りすぎてしまった部分もあったので、その調整ができるようになることが今後の課題である。また、前回の反省を活かし、授業内で今回の目標を確認し、目標に沿って授業全体に一貫性を持たせ、繋がりに整合性を持たせるものにした。また、出す課題のレベルも下げ、誘導が多く解きやすいものとなるように意識した。良かった点としては、前回の授業に比べて授業全体に一貫性や整合性があったこと、そして前回よりも複文化主義的側面が増えたということが挙げられる。反省点としては、前半の動画を見せる部分で少しもたついてしまったところと、予定にない例や説明をした時にもたついてしまったところが挙げられる。

改善案として、事前に動画視聴中の動きの指示をもっと出しておくことや、予定にない説明はしないということが考えられる。

最後に、教壇実習全体を振り返っていく。私は終始ティーチャーズトークではなく、砕けた話し方で話していたが、これには良い点と悪い点があった。良い点は、生徒との距離が近くなることと、CEFR の目指す社会言語能力や言語運用能力の向上につながることである。悪い点は、生徒の習熟度によっては言っていることを理解できない可能性があるということである。1 回目の授業でも、追加で入れた情報の説明を十分に入れないまま授業を進めてしまい、その知識がうまく伝わらずに授業が終わってしまったということがあった。そのため、初出の用語などは必ず板書をするか、そもそもその言葉を発さないようにしなければならない。

全体的にどの生徒も全く授業や活動に参加しないということではなく、グループワークも活発に行うことのできるクラスにすることができたのではないかと考える。

2. CEFR を用いた第二言語教育について

「社会で行動する者」を育て、異なる他者と共に生きる市民を育てることは、「教育」という大きな枠で見た時に大切な目標であることは間違いなく、言語という意味疎通に必要な不可欠なものを通じてそれを学ぶということは、言語習得だけでなく「市民」を育てるということの一番根源的で効果的な方法であると考えます。今回実際に教案を作っていく中で、日本語を学び始めたきっかけがただ日本文化に興味があるからというだけではなく、就職に有利だからという理由もあるということを知った。そのため、もし日本に留学や就職でしばらく暮らすことになったら、ということ想定して授業をすべきではないかと感じた。また、そういう授業をすれば必ず日本の文化や慣習についても身につけることができ、いつか日本に滞在することになっても「日本での市民」としてのアイデンティティを獲得することができるのではないかと考えた。このような経験から、ヨーロッパが CEFR を考えたことについて、異文化理解を促進し、複文化主義を推進するのにとっても良いことであると考える。

3. 前半に韓国語を学んだことについて

前半で韓国語を学んだことで、母語話者から学ぶ言語学習の学習者の気持ちがよくわかった。私は韓国語の初学者で、日本語を教えた韓国の学生さんたちは中級レベルだったので習熟度は違うが、元々何を言っているのか全くわからない、怖い、という状況から始まり、だんだん理解ができてくると今度は言いたいことがあるのに言えないというもどかしさに苦しむという過程は、どのレベルにもあることであり、この感情をいかに和らげ、やる気につなげられるかが鍵だということがわかったのは、とても良い経験だった。この時の気持ちや経験が、教壇実習で助けになったと感じる。

また、その国の言語を学ぶことで、韓国の文化についてより吸収できるものがあったと考える。なぜなら、知識として知っている文化でも、その国の言葉を知っているとその文化の捉え方や感じ方がより現地の人々に近づくからだ。日本語で表現するのとその国の言葉で表現するのでは、微妙にニュアンスが違うこともある。その違いを知ること、さらに文化の理解に深みが出る。また、語彙の出自を知ること、その国の歴史にも触れることができる。例えば、韓国語の単語には時々日本語と同じ発音で、同じ意味のものもある。これは日本と韓国の交流の多さを物語っている。このように、言語を学ぶとそれまで見えてこなかったその国の文化の隅々が見えてくる。

4. 韓国人学生との交流の中で感じたこと

今回、韓国語研修でのチューターさん、教壇実習期間中のチューターさん、実際に教壇実習で教えた学生さんたち、そして最終日の日韓フォーラムで交流した学生さんたちなど、たくさんの韓国人学生との交流があった。そのどれもが日本語で行われたことに対して、私は少し悔しく思った。私の韓国語と彼らの日本語のレベルに大きな差があったことは仕方がないが、こちらは母国語で楽に話せるのに相手は一生懸命日本語で伝えたいことを伝えようとしてくれるその姿を見て、私も対等であるべきだと少し後ろめたさを感じる場面があった。そのため、韓国語に限らず学習した言語はある程度意思疎通ができる程度には習得したいと強く思った。

複言語・複文化で過ごした6週間

1. 自身の教壇実習について

自身の教壇実習について、完成度、実践の成功、実践の失敗を分析し、順に述べます。

一点目の、授業の完成度について、約1週間の自由な韓国見学期間と、日本語教育実習が始まった後の1週間の授業見学実施期間の合計2週間で準備を行った、1回目の授業に関しては大変納得のいく教壇実習となりました。その一方で、2回目授業は1回目授業を受けて改善点と反省点を得つつも、そこから教授者としての動きを全て改善するには至らなかったという点で、授業開始時に、完成された授業プランを想像することができないものでした。2023年前期に実施された事前授業、「多文化交流実習Ⅰ/日本語教育法演習Ⅰ」での模擬授業にて、準備期間にだんだんとCEFRの掲げる行動中心アプローチからは離れてしまった経験から、常に教室内の活動を想像しつつ準備を行っていました。学習者が授業にひきつけられ、参加意識を持つためには行動中心アプローチに沿って具体的な活動为目标として立て、Can-doができるようになっていくことを、常に意識していなければならぬと考えました。

そこで使用する表現や語彙を導入していくことを心がけていました。こうした観点で授業を組み立てていく際に、2回目授業にて具体的な教室内の動きや活動の仕方が明確な形にならず、最終的にはご指導いただいた釜山外大の先生から受けたご助言をもとに授業を作っていました。教壇実習中の休憩時間にて、先生からのご助言をもとに授業内の活動を改善するなど、準備不足と教室で授業を行うことへの想像力がまだまだ足りなかった点がありました。

しかし、自身の授業で生教材を用いた点、それに学習者が興味と関心を持って、学習者の現段階より上のレベルのことまでも読み取ろうとした意志が出ていた点は、実践の成功と言えます。活動の前に行う場面設定を、学習者にとって非現実的でない、現実起こり得る場面とすることで、学習意欲を高めることになったと考えます。加えて、直接教授法にて授業を行なったため、ティーチャートークを意識して和語を用いました。このことによって、レベルが高めの活動であっても、学習者が活動と向き合っていた点は成功と言えるように考えます。

自身の実践の失敗としては、既出語彙の復習をフラッシュカード的に行って、授業の進度が速いものであった点、活動ごとの振り返りやフィードバックを十分に行わなかった点があります。前者に関しては、すでに学習していることを前提にしてスピード感を付けましたが、その割には授業資料の準備に時間がかかり、教室内の学習者も受動的に教室の前を見ているだけになってしまった点から失敗と言えます。後者は、2週間の授業を経て痛感した点で、自身が人前で、1人で発表する行為に躊躇いを覚えるせいで、いざ教授者になった時にそれを活動に取り入れられないということです。そのために、活動のフィードバックがいまいち学習者に伝わらず、全体的な授業の流れを理解せず授業の内容が流れてしまった点から失敗と考えます。

2. CEFRを用いた第二言語教育について

ヨーロッパは、二度の世界大戦を経て「異なる他者」への理解と融和を図るためにCEFRを考え出したというのが主流の議論かと考えます。しかしそれとは別に、難民や労働者移民も「異なる他者」として融和を想定していると考えます。これらは、現在では労働者移民の移住のために必要な言語能力の指標となっています。CEFRは指標にとどまるために、

その使い方によってはとても画一的かつ数値的に言語能力を測ることもなくなってしまいかねません。釜山外大の日本語教育という、実際に大学生と日本語を学習する現場でも、はじめは新たな評価基準が加わったという認識を持っていたり、学生自身にもその認識が見られたりしました。また、授業内では、具体的な Can-do に基づいた実践的な日本語を指導するときと、手書きの練習や2~3行程度の簡単な文章を読むという、従来の教室内の授業的な活動が併存している状況でした。後者の活動までも文脈化することで、活動間のつながりを自然にして、集中力を切らさない力が、教授者には求められると考えました。もしくは、自律した学習者を目指すことに焦点をあて、活動が行われる場面をあえて説明せず、場面を自由に想像してもらう時間を持つという方法もあると考えます。CEFR の形式や指標ではなく、その理念や背景をよく承知して教室内の活動を組み立てていくことができるような日本語教育を目指す必要があると考えました。

社会で行動する者には、1人のうちに異なるレベルや使い方を行う言語が複数存在していて良いとする、複言語・複文化主義があります。さまざまなレベルが内包され混在している状態をよしとしたうえで、学習者の「できる」点に着目し、伸びしろを「これからできたら良い」点と捉え、目標を設定します。それを教授者についてもあてはめると、教授者の特性も「できる」点として着目し、自身の「これからできるようになったら良い」点を考えることも可能だと考えられます。先に挙げた教壇実習にて起きた失敗からは、自身が授業構成を考える際に、「自律した学習者」になっていく学習者の姿を常に想像すること、人前で積極的に発表することや過度な遠慮を払拭することの2点が、「これからできるようになったら良い」点であると言えます。し知識の授与を行う存在ではなく、教室内のコミュニケーション活動をファシリテートする存在になることを意識していこうと考えます。

3. 前半に韓国語を学んだことについて

韓国語（朝鮮語）の勉強をする中で、直近で言語学習者の気持ちを味わうことになり、授業を聞いている人はどの程度先生の話を理解しているのかをよく実感することができました。直接教授法にて教えてくださった先生方の振舞や発言の仕方が、とても参考になるものが多く、ティーチャートークの重要性と難しさも感じつつ日本語教育実習に入ることとなりました。レベルがある程度揃えられているとは言え、やりとり・理解・表現の何が得意か、考えることより話すことが得意かなどは、学習者によって異なります。また、第二言語で話された言葉を全て完璧に理解することは、かなり高いレベルの学習者でないと難しいことです。こうした当たり前だけれども教授者として立つときは味わえない感覚を知ることができた点は、その後具体的に教室で教授者として振る舞う自身の姿を想像する時に大いに役立ちました。

また、韓国語能力自体については、自分でじっくりと考えたうえでなら質問したり、話しかけたりすることが可能ですが、私はまだまだ聞く力が足りないことを痛感しました。簡単な表現はできるが、ネイティブとのやり取りが難しい、というような状況です。そしかしそのような状況でも、日常的な買い物ができ、生活に必要なものを購入したりお店へ行ったりできる点に、驚きを感じました。

4. 日々の生活からの考察

少し上述しましたが、最低でもゲストハウスで生活した後半の3週間、我々は自力で生活することが求められていました。CEFR と Can-do アプローチによって、日本で行う具体的な活動を考えている一方で、実際に韓国にて、周囲が韓国語ばかりの環境に浸っていたとしても最低限の韓国語レベル、なんなら韓国語能力がなくとも短期間ならば生活できてしまうことを感じた期間でもありました。

加えて、韓国と日本は似ているために違いが際立ち、逆に「日本の良さ」を鮮明に感じてしまうこともありました。これは、ナショナルアイデンティティの前景化と言えます。慣れない環境で生活するということが自体に負荷は伴うものですが、そこから「日本」という言葉で語ることが適切なかどうか、発言と比較したがる思考にも思慮深さを持つことが重要だと考えます。6週間という期間は長いようで短く、我々は韓国に短期滞在したのであって、実際に長く生活することで見える景色をと異なるものを見たということを前提に、韓国での経験を語る必要があると考えました。

<参考文献>

- 金田智子（2020）「Ⅱ．オランダにおける移民等に対する自国語教育の内容について」『生活者にとって必要な「ことば」を考える：平成19年度成果普及セミナー報告書』、17-28
- 深澤のぞみ他（2021）『日本語を教えるための教授法入門』、くろしお出版
- 深澤のぞみ他（2019）『日本語を教えるための教材研究入門』、くろしお出版

【資料①：学生が作成した教案】

釜山外国語大学 日本語教育実習 教案①

日時	2023/09/11	15:00~16:50	100分
クラス	日本語 B1-1(06)	レベル	B1-1
		人数	20人
学習課	トピック3 からだと健康		
授業の 目標 [課題]	<p>【トピック3 Can-do】 <u>理解</u>：処方された薬の種類やそれをいつ、一日に何回飲めばよいのか簡単な説明を聞いて理解したり、袋や箱に書かれた表示を<u>読んで理解</u>することができる。</p> <p>【今回の Can-do】 日本のドラッグストアで、ルームメイトの症状に適した市販薬を探して購入し、服用方法や注意点をルームメイトに説明することができる。</p> <p>【場面設定】 あなたは日本に留学している韓国人です。ルームメイトに熱があるのですが、夜遅くて病院がやっていません。薬がないので、あなたは近くのドラッグストアまで薬を買いに行きます。</p>		
指導 項目	<p>【扱う語彙】</p> <p>○<u>症状・薬の種類、形状</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・症状、鼻水、咳、たん、発熱、悪寒、頭痛、体がだるい、鼻づまり ・顆粒、錠剤、漢方薬、解熱剤、総合風邪薬 <p>○<u>服用方法</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・服用する、～に効く、～時間間隔をおいてください、一回～錠、一日～回（ない形）ずに、（辞書形）こと、食前・食後、空腹時 		
時間	活動ごとの 目標/課題/項目	活動	教材/教具
15:00 ～	ペアワークを円滑に進めるために、緊張をほぐす	<p>☆アイスブレイク</p> <p>①ネームプレートをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタカナで名前を大きく書いてもらう ・名前の下に「最近の TMI」を書いてください <p>※みんなに発表はせず、ペアの人にだけ紹介するものです</p>	PPT 紙×20
15:05 ～		<p>②グループ分け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名札をもって自分のペアを探す <p>名札が見やすくするため、できるだけ前の方に座ってもらう</p>	グループ分けツール
15:08		<p>③ペアと日本語で話す(2, 3分)</p>	2023-2_学生名簿 (グループ分け用)
15:11	楽しみながら場面設定になじむ	<p>☆トピック導入 ※今日扱うのはからだと健康です～…</p> <p>①韓国で「薬」「化粧品」「日用品」「食品」を買いたいとき、どこで買う？と質問する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つ順番に聞いていき、単語を PPT に入力する 	PPT

<p>15 : 14</p> <p>15 : 18</p>	<p>実際の場면을具体的に想像することができる</p>	<p>・薬局、オリヤン、コンビニ etc. の単語を出す ※マートはスーパーです</p> <p>②日本ではこれらすべてドラッグストアで買うことができます (写真見せる) ※この漢字なんと読みますか? ・日本のドラッグストアで処方せんを出して、お医者さんが処方した薬をもらうことも出来ると説明する ・市販薬は処方せん受付の近くにある</p> <p>③最近薬を買った経験についてペアで話す ・話し合いの様子を見て、ヒント出す (どうして・どこで・何を買った) ・発表してもらおう (2, 3人ほど)</p>	
<p>15 : 22</p>	<p>Can-do を確認、実際の場면을具体的に想像することができる</p>	<p>☆活動 一理解一 ①場面設定を音読する ・教員も学生と合わせて読む (様子を見て途中で辞める) ・内容の確認: この時何時ですか? 夜だから病院がやっていないのです</p>	<p>PPT/PDF</p>
<p>15 : 23</p>	<p>市販薬を買うのに必要となる語彙 (名詞) を理解することができる</p>	<p>②語彙の読み方・意味の説明 ・Quizlet で理解度チェック ※理解度チェックはやったこと無いと思うので、説明する ※顆粒が出てきたときは「粉」ということばを出す ・症状に関することばのチェック ※書きことばは発熱です、のような説明 ※くしゃみと咳の違い:</p>	<p>クイズレットの学習セット ホワイトボード</p>
<p>15 : 38</p>	<p>薬の種類を確認</p>	<p>※書きことばは発熱です、のような説明</p>	<p>ホワイトボード</p>
<p>15 : 40</p>	<p>するとともに、適切な語彙がどのあたりに書いてあるのかを読み取ることができる (今後の活動をスムーズに進める準備ができる)</p>	<p>③演習【理解】 (1) 薬の画像を見てもらい、どんな薬があるか確認する (ついでに、薬の種類も確認) ・見つけた人から教えてもらう ・ヒントの出し方 「どんな形ですか?」 「どんな症状に効く薬ですか?」 「どんな種類のくすりですか?」 ※プリントの単語リストを見てもいいです 「ちなみに黄色の薬は、どんな人が飲むことができる薬か、分かる人はいますか?」</p>	<p>PPT/PDF</p>
<p>15 : 46 休憩</p>			
<p>15 : 56</p>		<p>(時間を見ながら一旦はやめに休憩)</p>	

<p>15 : 56</p> <p>15 : 58</p> <p>16 : 00</p>	<p>薬を選んで買うにあたり、会話を聞いて、相手の症状を聞き取り、理解することができる</p> <p>ペアと積極的に協働しながら、語彙の理解をお互いに確認することができる</p>	<p>(2) プリントに書かれた人物の会話を聞く (約 35 秒)</p> <p>※これから、りこさんとダヨンさんの会話を聞きます。2人はルームメイトで、朝からりこさんの体の調子が悪いようです。さきほどクイズレットで練習した症状(ちゅんさん)に 気をつけて、聞いてみてください。※あとで理子さんの症状にあった薬をプリントから選んでもらいます。(PDF 見せる)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度スクリプトを隠して2回流す <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度聞こえた単語をメモして、ペアと合っているか確認してみてください、あとで文章を見て考える時間があるので安心してください <p style="text-align: center;">↓</p> <p>読み方確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 選んだ薬をペアで確認 (※このあたりから PDF 映しておく) 「Aを選んだ人〜？」 15のスライドを見ながら 「粉が嫌いといっていますね」等答え合わせ 	<p>ホワイトボード 粉 (こな)</p>
<p>16 : 05</p>	<p>薬の服用方法に関する語彙と、話しことばの語彙を結びつけることが出来る</p>	<p>☆活動【やりとり】Can-do②をみんなで読む</p> <p>①語彙 (動詞や表現メイン) の説明・意味の確認</p> <p>※漢字や同じ意味のことばを、PDF にメモしてみてください</p> <ul style="list-style-type: none"> 「薬を服用する」私が読む このイラストを見て、意味わかる人いますか? →飲む、です →みんなで読んでみましょう 「時間以上、間隔をおく」 間隔をおく、というのは時間がたつのを待つ、という意味です →イラストで補足 1回〇錠 ※数字の読み方も教える 一錠、、、 イラスト：この人は1回何錠飲んでますか? 1日何回：この人は夜だけ薬をのみます。この人は、一日何回薬を 服用 しますか? 	<p>PPT/PDF</p> <p>ホワイトボード</p>

16:10	ない形の復習をしながら、服用方法に使用される可能性のある表現の活用ができる	<p>・食前・食後：前、この漢字の他の読み方知っている人いますか？ 「まえ」食べる前、食べた後</p> <p>※（ない形）ずに（辞書形）こと：～しないでください、という意味です。 ・ない形で応用できるものもあれば、出来ないものもあるので、注意して練習する 例) 運動する ※かむ、の意味確認→かむのない形は？ I グループなので「かま(a)ない」ですね グループを忘れていたら：ます形</p>	
16:16	導入した表現を、会話で説明するときの表現に変換することができる	<p>②練習：シンプルな文章をつくる練習</p> <p>※このように書いてあったら、どのように薬をのめばいいですか？わたしに説明してください。</p> <p>例) かまずに服用すること。 →かまないで飲んでください。</p> <p>「しないでください」という表現も習いましたよね？</p> <p>・一つずつ指名する</p>	PPT/PDF
16:21 16:26 16:30 16:32	服用表示を見て、効能や用法・用量の表示の仕方を確認し、説明に必要な情報がどのように提示されているのか知る モデル会話を見て、服用方法の説明方法を理解することができる	<p>③ダヨンさんと理子さんのモデル会話を見る</p> <p>・軽くベンザブロックの服用表示を見て、効能と用法・用量をチェックする時間をとる</p> <p>・モデル会話を見て、読んでもらう時間 ※みなさんは PDF を見て下さい</p> <p>※まず私が読みます、あとで皆さんにも読んでもらうので、漢字の読み方などをチェックしてくださいね →<ペアで練習時間> 終わった後に気になる発音・意味チェック →ダヨンさんとりこさんそれぞれ指名して読んでもらう（1回）</p>	PPT/PDF
16:33	相手との関係性によって、適切にことばの語尾や会話の形態を変えることに気づくことができる	<p>・ちなみにこの二人、どんな関係だと思えますか？友達ですか？ ・「ちがいます」どっちのほうが年上ですか？ （あとでモデル会話を使って練習する際、ペアとの関係性により自由にしていいよ、と指示するための導入として）</p> <p>・PDF に載せた薬の説明書（3パターン）をもとにペアで会話してみる</p>	

16:45	<p>モデル会話を参考に、自分で症状や設定を考え、より自分の状況にあった会話をすることが</p>	<p>※症状はなんでもいいです。かぜをひいたとき、よくせきが止まらなくなる人は咳を症状にする、など自分にあった設定を。papago で調べても OK 年齢も自由に。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表してもらおう（2ペアほど） 役割交代 ver も発表する
宿題	E-class に更新される Quizlet の学習セットをみて、単語を予習してくる	

釜山外国語大学 日本語教育実習 教案②

日時	2023/09/14	16:00~17:50	100分
クラス	日本語 B1-1 (06)	レベル	B1-1 人数 19人
学習課	トピック3 からだと健康		
授業の 目標 [課題]	<p>【トピック3 Can-do】 <u>表現</u>：自分や周りの人が経験した大変だった病気やケガについて、回想しながらある程度まとまった内容を表現することができる。</p> <p>【今回の Can-do】 ケガをした／体調が悪い友だちに、自分の経験を思い出しながら、どうしたらよいかLINE でアドバイスできる。</p> <p>【場面設定】 あなたは日本に留学しています。日本でとても仲良くなった友だちから、ケガ／病気をしたがどう対応したらよいか分からない、とLINE が来ました。あなたは自分の経験を思い出しながら、アドバイスをします。</p>		
指導 項目	<p>語彙</p> <p>○<u>語彙</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・突き指、骨折、火傷、二日酔い、じんましん、貧血、花粉症、頭痛、風邪、寒気、鼻づまり、のどの痛み、鼻水 くしゃみ、咳、たん、熱、だるい、かゆい、クラクラする、ズキズキ痛む、食欲がない、腫れる、悪化する <p>○<u>表現</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(普通体)なら～(た形)たほうがいい、(ない形)ように・・・、(た形)たら・だら、 《結果》た (普通体)し、(普通体)し・・・ 		
時間	活動ごとの 目標/課題/項目	活動	教材/教具
16:00		☆前回の続き	PPT
16:02	前回のペアと作ってきた会話をアドバイスしながら練習できる	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の Can-do を確認 ・考えてきた会話を前回のペアと少し練習する(4分) <p>※1 発表で指すペアをあらかじめ2つ決めて、それ以外のペアの発表は練習中に「やってみてください」などと声をかけて対応する</p> <p>※2 欠席した3人への対応：他のペアの練習を聞き、薬の説明を受ける+できれば、質問などしてみる</p> <p>※3 もし、先週いた人が今週はいない：先週いなかった人と練習(練習中にできればグループ分けツールに名前を入れておく)</p>	先週のPDF
16:08	ほかのペアの発表内容を聞いて、理解すること	<ul style="list-style-type: none"> ・発表(2ペア) 	

	とが出来る	<p>※あとでかたんに質問するので、しっかり発表聞いて下さい</p> <p>発表しているペアの選んだ薬をスクリーンに分かった段階で出すか、どの薬を選んだかみなさん分かりますか？と聞く</p>	
16 : 10	ペアとのなかを深め、緊張をほぐすことができる	<p>☆ウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほどのペアを解消し、グループに組み直す ・今までに経験した病気やケガで、大変だったエピソードを、話せる範囲でよいのでグループでシェアする。(なるべく日本語) ・まずは私の経験談からシェアする。 ・グループ(その時の全体人数によって臨機応変に人数調整) <p>※この間にグループとメンバーを把握して、後の活動でどこを指すか決めておく</p>	グループ分けツール
16 : 15	教員の経験談を聞きながら、実際の場面や使う語彙表現を具体的にイメージすることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・数人に発表してもらい、発表の中で出てきた単語について少しみんなで確認する。 <p>※「〇〇知っていますか？韓国語では何と言いますか？」など</p>	
16 : 22	今日の場面設定を、声に出しながら読むことで	<p>【活動 ーやりとりー】</p> <p>○場面設定の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10秒くらい読む時間をとって一緒に音読する ・1文ずつ読む「。までが一つの文章ですよ」 	PPT
16 : 25	しっかり頭に入れることができる	<p>○Quizletで提示した単語の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の活動で使う語彙だけ意味を確認する <p>※突き指をしました、火傷をしました</p> <p>→したところはどうなりますか? 「腫れる」</p> <p>→これがこうなってしまいました 「悪くなっています」</p> <p>「悪化する」</p>	PPT/PDF
16 : 35	予習した語彙の意味を確認することが出来る	<p>※この単語、覚えておいてくださいね!次つかいますからね</p> <p>今日のCan-do なんてしたっけ?LINE できることでしたよね</p>	PPT/PDF (メモ)
	場面設定を具体的に確認すると同時に、グループで協力しながらポイントにそってモデル会話の概要を読み取ることが出来る	<p>○LINEの会話を見る:ケガと病気の2パターンを読む</p> <p>※これから2つ、個人チャットを読みます。具合の悪い友達から、相談を受ける個人チャットです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、自分だけで読み、ふりがなをふる時間をとる(2分) ・内容チェックの活動(グループ)(5分) <ol style="list-style-type: none"> ①ゆうきさんの症状は何か ②あなたはそのケガをしたとき、どんな経験をしたか ③あなたはどんなアドバイスをしているか <p>※話し合いが終わったグループは、知らない単語や表現があれば下にメモしてください。どういう意味が分かる人がいなければ、みんなで一回考えてみて、そのあと調べても大丈夫</p>	PPT/PDF

16 : 45		<p>です。 また、2グループくらいに発表してもらいますが、どのグループが指されても大丈夫なように3人くらい発表する人を決めておいてください。</p>	
16 : 55		<ul style="list-style-type: none"> ・1グループに発表してもらおう（3分） <p>PDFの画面を見せながら、みんなで確認する</p>	
17 : 05	<p>モデル会話で導入した表現を練習しながら、既習文法の復習をする</p>	<p>一旦休憩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この一連の流れを2回やる（もう10分） <p>○使用する表現の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたらしい表現の文法説明 <p>※文章が完成したら、みんなで合わせて読む</p>	
17 : 15	<p>練習した表現を使って、自分で自由な文章をつくる事が出来る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 普通体 なら～、た形 ほうがいい： ※普通体 のところに た形入れてはいけない 過去のお話を前半にいれてはいけないことを確認する ② ない形 ように・・・ ※ない形じゃなくても大丈夫だということを説明 ③ た形 たら／だら、（結果）・・・だった <p>※</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 普通体 し、普通体 し、～～ ※～て、～て、と何が違うか（板書と声のトーン） 	
17 : 20		<p>○モデル会話の中に出てきた表現を使って、練習のワークをする</p> <p>一人でやってみて、早く終わったらペアの人と見せあってもOK</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人につくった文を紹介してもらおう（5分） 	
17 : 25	<p>Padletの使い方を理解することができる</p>	<p>【活動 ー表現ー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の仕方を説明する <p>○Padletの使い方を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人二役でデモンストレーションしてみる <p>まお 最近くしゃみが止まらないし、鼻もかゆいし、花粉症になっちゃったみたい...</p> <p>わたし 今まで花粉症じゃなかったの？</p> <p>まお これまで花粉症っぽい症状は無かった🏥病院で薬もらって</p>	<p>Padlet</p>

<p>ペアと相談しながら、自分たちの経験に即した会話を作り、LINE 風に投稿することが出来る</p>	<p>る？ わたし もらってるよ。毎年春は、くしゃみや鼻水でつらいから、病院でたくさん処方してもらおう！ まお そうなんだね、これから大変だ、、、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず、最初にどっちがアドバイス側をやるか決め、投稿 ・相談する人とアドバイスする人でカラーを変えるように実演 ・Quizlet で予習できるようになっていたことばが表にあるので、それを使って、あたらしい症状を考えても OK ・終わったら、交代して考える <p>交代できなくても大丈夫 焦らずにじっくり考えてください</p>	<p>PPT</p>
---	---	------------

釜山外国語大学 日本語教育実習 教案

日時	2023年9月13日		14:00~15:50	100分
クラス	日本語 B2-1	レベル	B2-1	人数 11人
学習課	トピック2 住まいと住環境			
授業の 目標 [課題]	<p>理解：住居に関する記事を読んだり聞いたりして、理解できる。</p> <p>やりとり：自分が将来住んでみたい家や周辺環境について説明し、具体的な理由や例を混ぜながらやりとりができる。</p>			
場面 設定	<p>理解：あなたは来年の4月から、就職活動のために東京に半年滞在します。どんな家を借りるか迷っているため、ネットの記事を読んで情報を集めることにしました。</p> <p>やりとり：あなたの好きな有名人が結婚しました。その話を、同じ有名人が好きな日本人の友人としているうちに、自分たちの将来の話になりました。その中で、将来住んでみたい家や周辺環境について、友達と話します。</p>			
時間	活動ごとの 目標/課題/ 項目	活動	教材/教具	
14:00~ 14:05 (5分)	出席確認 自己紹介	<p>授業に生徒が出席しているか、名前を呼んで確認する。</p> <p>***が生徒に自己紹介をする。</p> <p>挨拶： こんにちは。今日と明日の授業を担当させていただきます、***です。よろしくお願いします。</p> <p>出席確認： 出席を確認します。名前を呼ばれたら、手を挙げてください。</p> <p>自己紹介： (自己紹介をする)</p>	PPT 出席表	
14:05~ 14:07 (2分)	目標・場面設定の説明 授業の流れの説明	<p>目標と場面設定の説明をする。授業の流れの説明をする。</p> <p>目標と場面設定の説明： この時間の目標と場面設定を説明します。 (学生カードを引いて)では〇〇さん、目標を読んでください。 (「住居に関する記事を読んで、理解することができる」) ありがとうございます。 (学生カードを引いて)次に〇〇さん、場面設定を読んでください。 。「あなたは来年の4月から、ワーキングホリデーのために東京に1年間滞在します。どんな家を借りるか迷っているため、ネットの記事を読んで情報を集めることにしました。」) はい、ありがとうございます。</p>	PPT プリント	

		<p>授業の流れの説明： 今日の授業は、前半は住居、簡単に言うと家に関するネットの記事を読みます。後半は、みなさんが将来住みたい家や、周辺環境について話します。</p>	
14:07～ 14:12 (5分)	導入	<p>今、自分がどんな家に住んでいるのか、どんなところを改善したいかペアで話し合ってもらおう</p> <p>導入：みなさんは今、どんな家に住んでいますか？どんなところを改善したいですか？ペアで話し合ってみてください。寮に住んでいる人はいますか？やっぱりいますね。寮に住んでいる人は、実家について話して下さい。時間は3分くらいです。あとで、ペアがどんな家に住んでいるのか、どこを改善したいのか、紹介してもらいます。なので、必要だと思ったら、メモをしながら、ペアの話を聞いてください。では、どうぞ。 (3分後) そろそろ時間なので、聞いてみましょう。 (学生カードを引いて)〇〇さん、ペアはどんな家に住んでいますか。どんなところを改善したいと思っていますか。 (ペアの家や改善点を紹介してもらおう) はい。ありがとうございます。 では次、(学生カードを引いて)〇〇さん、ペアはどんな家に住んでいますか。どんなところを改善したいと思っていますか。 (時間に応じて臨機応変に)</p>	プリント
14:12～ 14:50 (39分)	記事を読む	<p>語彙を紹介したあと、記事を読んでもらう。各自で読んだ後、ペアで分からない部分を確認する。その後、全体で記事を確認する。</p> <p>記事を読む(10分)： では、プリントを見てください。今からこの記事を読んでください。まずは1人で読みます。わからないところがあったら、マークしてくださいね。 (5分後) 次は、ペアになって、分からないところをお互いに確認してください。二人ともわからないところは、辞書を使ったり、スマホで調べたりしても大丈夫です。 (5分後) 時間です。</p> <p>記事の内容を確認する(21分)： では、記事を読んでもらいましょう。 (学生カードを引いて)〇〇さん、ここを読んでください。 (読んでもらう)</p>	プリント

		<p>ありがとうございます。では次に、〇〇さん、ここを読んでください。</p> <p>[記事を学生に読み上げていってもらおう]</p> <p>ありがとうございます。では、最初からみていきましょう。(難しい、分からなさそうな単語の意味を確認しながら、文章の意味が理解できているかどうか確認する。)</p> <p>記事に関する質問をする(8分)：</p> <p>では、プリントの、記事の下を見てください。質問がいくつか書いてありますね。全て記事に関する質問なので、記事に書いてあったことを思い出しながら、回答を考えてみてください。まずは1人で考えましょう。時間は3分くらいです。</p> <p>(3分後)</p> <p>次はペアで質問の答えを確認してください。ペアで答えが違うときは、どうしてその答えにしたのか、お互いに理由を聞いてみましょう。あとでどんな話をしたか聞くので、必要だと思ったらメモをしてくださいね。時間は5分くらいです。</p> <p>(5分後)</p>	
14:50～ 15:00 (10分)	休憩	休憩：時間なので、10分間休憩してください。15時〇分に授業を再開します。	
15:00～ 15:01 (1分)	出席確認	<p>学生が揃っているかどうかを確認する。</p> <p>出席確認：みなさん、戻っていますね？ペアが戻ってきていないという人はいますか？</p>	
15:01～ 15:11 (10分)	記事に関する質問をする	<p>記事に関する質問について、どんなことを話しあったのか聞く</p> <p>記事に関する質問をする：</p> <p>では、さっきの時間の続きをします。質問になんと答えたか、ペアで話し合いましたね。どんな話をしたか、聞きたいと思います。</p> <p>(学生カードを引いて)〇〇さん、一つ目の質問はなんと答えましたか？(どうしてそう思いましたか？ペアとはどんな話をしましたか？)</p> <p>[質問を順番に答えていってもらおう]</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、次の活動、やりとりに行きたいと思います。</p>	プリント
15:11～ 15:13 (2分)	目標と場面設定の説明	<p>授業の目標と場面設定を説明する。</p> <p>目標と場面設定の説明：</p> <p>さっきの時間に、みなさんが今どんな家に住んでいるか、どん</p>	PPT、プリント

		<p>なところを改善したいかについて、少し話してもらいましたよね。覚えていますか？今からは、みなさんが将来住みたい家や、周辺環境について話します。</p> <p>この時間の目標と場面設定を説明します。</p> <p>(学生カードを引いて)では〇〇さん、目標を読んでください。</p> <p>(「自分が将来住んでみたい家や周辺環境について説明し、具体的な理由や例を混ぜながらやりとりができる。」)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>(学生カードを引いて)次に〇〇さん、場面設定を読んでください。</p> <p>(「あなたの好きな有名人が結婚しました。その話を、同じ有名人が好きな日本人の友人としているうちに、自分たちの将来の話になりました。その中で、将来住んでみたい家や周辺環境について、友達と話します。」)</p> <p>はい、ありがとうございます。</p>	
15:13~ 15:18 (5分)	導入	<p>導入：</p> <p>みなさん、場面設定に「好きな有名人」と出てきましたね。みなさんは、好きな有名人はいますか？有名人といっても、アイドルでも、歌手でも、だれでもいいですよ。好きな有名人がいるかどうか、ペアと話してみてください。好きな有名人がいる人は、何をしている人で、どんなところが好きかも、話してみてくださいね。</p> <p>(2分後)</p> <p>ちょっとはいいですが、きいてみましょう。〇〇さん、好きな有名人はいますか？(何をしている人ですか？どんな所が好きですか？)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>私も、好きな有名人がいます。声優の斉藤壮馬さんという人です。(声優ってわかりますか？)</p> <p>今回の場面は、「あなたの好きな有名人が結婚しました。その話を、同じ有名人が好きな日本人の友人としているうちに、自分たちの将来の話になりました。その中で、将来住んでみたい家や周辺環境について、友達と話します。」でしたね。</p> <p>私の好きな有名人も、今年の6月くらいに結婚しました。その時の、私が友達に送ったLINEと、Twitter(今はXですね)の投稿があったので、ちょっとみてみましょう。</p> <p>(PPTでみせる)</p> <p>私自身、好きな有名人が結婚して、少しびっくりして、自分の将来について考えてしまったことがあります。</p> <p>こんな話はこのあたりにして、授業に戻りたいと思います。</p>	プリン ト、PPT
15:18~ 15:24	自分の将来 について話	<p>自分が将来どんな家に住みたいか、家の周辺環境はどんなものがよいかを考えるために、自分の将来について話してもらおう。</p>	プリン ト

(6分)	してもらおう	<p>自分の将来について話してもらおう：</p> <p>さて、将来どんな家に住みたいかを考える前に、将来の自分はどうなっているか、どうなっていたいかについて話してみましょう。将来、という曖昧ですが、大学を卒業した後のことを考えてみてください。大学を卒業した後なら、いつでも大丈夫ですよ。就職して仕事仕事の日々、結婚していて子どももいる、日本、または海外で働いている、大学院に行っている…いろいろな可能性がありますね。将来の自分について、ペアで話してみてください。</p> <p>(3分後)</p> <p>そろそろ時間なので、聞いてみましょう。</p> <p>(学生カードを引いて)○○さん、将来の自分について、どんなことを話しましたか？</p> <p>(話してもらおう)</p> <p>はい、ありがとうございます。(学生カードを引いて)では、○○さんはどうですか？</p> <p>(話してもらおう)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>私は、大学を卒業したあとは、就職をして、会社で働きたいと思っています。結婚もするつもりはなくて、ずっと一人暮らしです。私はアニメや声優さんが好きです。社会人になっても(社会人ってわかりますか?)、このままオタクでいたいです。</p>	
15:24～ 15:34 (10分)	将来住みたい家について考える	<p>将来住みたい家や、その周辺環境について考えてもらおう</p> <p>住みたい家：</p> <p>将来の自分について話してもらいましたが、では、将来どんな家に住んでみたいか考えてみましょう。その前に、家といってもいろいろなタイプがありますよね。マンションや、一軒家など…ペアで一度、どんなタイプの部屋があるか話してみてください。</p> <p>(1分後)</p> <p>話せましたかね。(学生カードを引いて)では、○○さんどんな家のタイプが出ましたか？</p> <p>(話を聞く)</p> <p>ありがとうございます。家と言っても、マンション、アパート、寮、いろいろあります。私の場合、将来も一人暮らしなので、一人暮らし用のマンションやアパートに住んでいると思います。できれば借りるのではなくて、購入したいですね。オタクなので、アニメや声優さんのグッズを飾る棚と、広いスペースがほしいですね。</p> <p>こんな風に、みなさんも、将来の自分がどんな家に住みたいか、話してみてください。時間は3分くらいです。</p>	プリント

		<p>(5分後)</p> <p>そろそろ時間なので、聞いてみましょう。 (学生カードを引いて)○○さん、どんな話をしましたか? (話してもらう)</p> <p>ありがとうございます。</p>	
15:34~ 15:45 (11分)	将来住みたい家の周辺環境について話すための、参考語彙を紹介する	<p>将来住んでみたい家の周辺環境について話すために、参考語彙を紹介する</p> <p>周辺環境： では、次に、家の周辺環境について考えましょう。私だったら、会社で働くので、会社に近い所がいいです。就職は東京でするので、東京のどこかに住みたいです。私は美味しいパンが好きなので、家の近くにパン屋さんがあると、とてもいいですね。毎朝、焼き立てのパンを食べたいです。 ではここで、周辺環境について話す時の参考語彙を紹介します。プリントを見てください。今日は、周辺環境について話す時間がないので、それに関する言葉を紹介して終わります。皆さん、明日も、今から紹介する言葉を覚えておいてくださいね。 (参考語彙を紹介する)</p>	プリント
15:45~ 15:50 (5分)	授業アンケート、明日の授業のお知らせ	<p>授業アンケートを書いてもらう。明日の授業について説明する。</p> <p>明日の授業の説明： 明日の授業は、今日の続きをやります。明日の授業では、みなさんが将来住みたい家の周辺環境について話してもらうので、どんな所に住みたいか、家の周りには何が欲しいか、すこし考えてきてください。どこの国か、都会か田舎か、家の周りには何があるか…色々考えられますね。(提出とかはありませんよ!)</p> <p>授業アンケート： 最後に、この授業についてのアンケートを書いてもらいます。スクリーンにQRコードを出すので、そちらから回答しても大丈夫です。 先生は韓国語が読めないで、日本語で書いてくださいね。このアンケートは成績に全く関係ないので、思ったことを自由に書いてください。</p>	PPT
宿題	どんなところに住みたいか、考えてきてもらう		

釜山外国語大学 日本語教育実習 教案

日時	2022年9月14日	15:00~16:50	100分
クラス	日本語 B2-1	レベル B2-1	人数 11人
学習課	トピック2 住まいと住環境		
授業の目標 [課題]	<p>やりとり：自分が将来住んでみたい家や周辺環境について説明し、具体的な理由や例を混ぜながらやりとりができる。</p> <p>表現：住居や周辺環境についてまとめた内容を、正確で適切な語句や文を使って表現できる。</p>		
場面設定	<p>やりとり：あなたの好きな有名人が結婚しました。その話を、同じ有名人が好きな日本人の友人としているうちに、自分たちの将来の話になりました。その中で、将来住んでみたい家や周辺環境について、友達と話します。</p> <p>表現：自分の住んでいる所の近くに、友達の日本人の知り合いが引っ越してきます。その人が、そのあたりはどんなところなのかを知りたいそうです。周辺環境について、その人にLINEで教えることになりました。</p>		
時間	活動ごとの 目標/課題/項目	活動	教材/ 教具
15:00~ 15:02 (2分)	出席確認	<p>出席を確認する。</p> <p>出席確認： 出席を確認します。名前を呼ばれたら、手を挙げてください。</p>	出席表
15:02~ 15:15 (13分)	昨日の授業の 振り返り	<p>昨日の授業の振り返りをする。ペアを作った後、机といすを移動してもらう。宿題の確認をする。</p> <p>昨日の授業の振り返り： みなさん、昨日の授業では何をしたか、覚えていますか？昨日のことなので、覚えてる人が多いと思いますが、すこしだけ振り返ってみましょう。</p> <p>昨日はまず、記事を読みましたね。どんな記事でしたか？ そしてその後、将来住んでみたい家について話しましたよね。覚えていますかね？はい、なんとなく昨日のことを思い出せましたかね。</p> <p>グループを作る： では、今日の授業に入る前に、みなさんに席を移動してもらおうと思います。今日の授業では皆さんにいろいろ話し合ってもらうので、机の形を変えちゃいます。机を縦向きにして、生徒のみなさん同士で向き合える感じにしてください。</p> <p>グループをいまから私が作るので、グループの人たちと一緒に座</p>	プリント

		<p>ってくださいね。</p> <p>宿題の確認： さて、昨日の授業の最後に宿題を出しましたよね。言葉の意味を調べてくると、自分が将来住みたい家の周辺環境について考えてきてもらう、というものでした。やってきましたか？ では〇〇さん、「商店街」ってなんですか？ (言葉の意味を確認していく)</p>	
15:15～ 15:17 (2分)	目標と場面設定の説明、授業の流れの説明	<p>この授業の目標と、場面設定を説明する。 今日の授業の流れを説明する。</p> <p>目標と場面設定の説明： この時間の目標と場面設定を説明します。昨日の続きなので、昨日と同じですが、もう一度確認しましょう。 (学生カードを引いて)では〇〇さん、目標を読んでください。 (「自分が将来住んでみたい家や周辺環境について説明し、具体的な理由や例を混ぜながらやりとりができる。」) ありがとうございます。 (学生カードを引いて)次に〇〇さん、場面設定を読んでください。 。「あなたの好きな有名人が結婚しました。その話を、同じ有名人が好きな日本人の友人としているうちに、自分たちの将来の話になりました。その中で、将来住んでみたい家や周辺環境について、友達と話します。」) ありがとうございます。</p> <p>授業の流れの説明： 今日の授業は、前半は昨日の続きで、みなさんが将来住んでみたい家や、周辺環境についてはなします。後半は、みなさんが住んでいる所の周辺環境について、書いてもらいます。</p>	PPT
15:17～ 15:27 (10分)	将来住みたい家の周辺環境について考えてもらう際のポイントを紹介する	<p>将来住みたい家の周辺環境について考えてもらう際のポイントを紹介します。将来住みたい家について、簡単に書かれた文章(A)と理由や具体例まで詳しく書かれた文章(B)を読んでもらって、文章を書く時のポイントに気付いてもらう。</p> <p>考えるポイントを紹介します： 昨日の授業の最後に、言葉を調べてくるというもの以外に、宿題を出しましたね。なんだったか覚えていますか？はい、自分が将来住みたい家の周りには何が欲しいか考えてくる、でしたよね。 考えてきましたか？どうですか？早速話し合ってもらいたいのですが、その前に、一つ活動を挟みます。プリントの二つの文章を読んでみてください。Aの文章とBの文章があります。まずは</p>	プリント

		<p>1人で読んでみてください。</p> <p>(2分後)</p> <p>読めましたか？では、この文章はどんな内容だったでしょうか？(学生カードを引いて)〇〇さん、なにについての文章でしたか？(答えてもらう)</p> <p>はい、どちらも、将来住みたい家についての文章でしたね。</p> <p>では、この二つの文章は、なにが違いますか？ペアで話し合ってみてください。</p> <p>(3分後)</p> <p>話せましたか？ではきいてみましょう、(学生カードを引いて)〇〇さん、この二つの文章はどこが違いますか？(答えてもらう)</p> <p>はい、そうですね。ほかの人にも聞いてみましょう、(学生カードを引いて)〇〇さん、この二つの文章はどこが違いますか？(Aの文章を書いた人はどうしてこの場所に住みたいのかわかりますか？など、理由や具体例を尋ねる質問もする。)(答えてもらう)</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>この二つの文章は、内容の詳しさが違いますね。</p> <p>Aの文章は、将来住みたい家については書いてありますが、その理由や、具体的な場所は書いてありません。ですが、Bの文章には、理由や、具体的な場所が書いてありますね。</p>	
<p>15:27～ 15:50 (23分)</p>	<p>将来住みたい家の周辺環境について考えてもらう</p>	<p>将来住みたい家の周辺環境について考えてもらう</p> <p>将来住みたい家の周辺環境について考える：さて、今からみなさんには将来どんな所に住みたいか、周りにはどんな施設が欲しいか、少し考えてもらいます。プリントに「どんな施設」とありますが、例えばどんなものがあるのでしょうか？(学生カードを引いて)〇〇さん、例えばどんなものが思い浮かびますか？(答えてもらう)</p> <p>はい、ありがとうございます。答えてもらったもののほかにも、病院や銀行、スーパー、本屋さん、パン屋さん、いろいろありますね。</p> <p>Bの文章のように、そう思う理由や、具体的な例を挙げながら考えてみましょう。考えてきてくれた人も、このポイントに注意して、もう一度考えてみてください。</p> <p>(1分後)</p> <p>では、次はグループで話してみしましょう。グループで話す時、話を聞いている人は、質問を2つ以上してみてください。どんな質問でも大丈夫ですよ。どうしてコンビニが欲しいんですか～とか、「駅から近い」は歩いて何分くらいの距離までだと思いますか～とか、なんでも大丈夫です。あとでどんなところに住みたいか</p>	<p>プリント</p>

		<p>聞くので、必要だと思ったらメモをしてくださいね。では、どうぞ～</p> <p>(6分後)</p> <p>はい、時間です。では、どんなことを話したのか聞いてみましょう。</p> <p>人数も少ないクラスなので、一人ずつ聞いてみましょうか。みなさん、他の人の話を聞いて、質問があればしてみてください。</p> <p>〇〇さん、どんなことを話しましたか？</p> <p>(全員に答えてもらう。)</p> <p>みなさん、ありがとうございます。</p>	
15:50～ 16:00	休憩	<p>休憩：時間なので、10分間休憩してください。16時〇分に授業を再開します。</p>	
16:00～ 16:01 (1分)	出席確認	<p>学生が揃っているかどうかを確認する。</p> <p>出席確認：みなさん、戻っていますね？ペアが戻ってきていないという人はいますか？</p>	
16:01～ 16:03 (2分)	目標と場面設定の説明	<p>授業の目標と場面設定を説明する。</p> <p>目標と場面設定の説明： この時間の目標と場面設定を説明します。 (学生カードを引いて)では〇〇さん、目標を読んでください。 (「住居や周辺環境についてまとめた内容を、正確で適切な語句や文を使って表現できる。」)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>(学生カードを引いて)次に〇〇さん、場面設定を読んでください。</p> <p>(「自分の住んでいる所の近くに、友達の日本人の知り合いが引っ越してきます。その人が、のあたりはどんなところなのかを知りたいそうです。周辺環境について、その人に LINE で教えることになりました。」)</p> <p>ありがとうございます。</p>	PPT、 プリント
16:03～ 16:06 (3分)	導入	<p>導入として、**が住んでいるところ(池袋)の周辺環境を紹介する</p> <p>導入： (PPTを見せながら)みなさん、ここがどこかわかりますか？分かる人いますか～？(挙手を求める)</p> <p>はい、ここは池袋です。池袋、行ったことがある人はいますか？(いたら少し話を聞く。何をしましたか？何を食べましたか？池袋と似ている町が韓国にはありますか？)</p> <p>私は池袋の近くに住んでいます。今から、少しだけ池袋の紹介を</p>	PPT

		<p>しますね。</p> <p>池袋は東京の北のほうにある町です。かなりにぎやかな場所で、最近外国人の観光客も増えていますよ。</p> <p>池袋にはいろんな施設があります。今日は、水族館とプラネタリウムを紹介しますね。(プラネタリウムってわかりますか？確認する)どちらも、サンシャインシティという施設…さっき見せた、この写真です。この中にあって、人気の施設です。特にプラネタリウムは、ソファに寝転がってみれる、特別な席があって、とても人気です。写真にも載っていますね。</p> <p>そして、池袋はアニメの街として知られています。日本で一番大きなアニメイト、韓国語ではエニメイト？があります。この写真ですね。地下1階から9階まであって、どのフロアも人が多いです。</p> <p>たまに、コスプレ(コスプレってわかりますか？)をするイベントが開催されます。このイベントでは、コスプレをして写真を撮ったり、お店に入ったりできます。この日は、池袋に行くと、コスプレをしている人がたくさん歩いていて、とても楽しいですよ。美味しいご飯が食べられるお店もたくさんあります。写真は、ピザ、ハンバーグ、クリームソーダ(クリームソーダってわかりますか？)ですね。本当にいい町なので、もし興味があればぜひ行ってみてください。</p>	
<p>16:06～ 16:16 (10分)</p>	<p>友達からの依頼文を読む</p>	<p>友達から送られてきた、自分が住んでいるところの周りに何があるか教えてほしいという内容の依頼文を読む。</p> <p>依頼文を読む： さて、授業に戻ります。プリントを見てください。これは、あなたの友達から送られてきた文章です。まずは、一人で読んでみましょう。 (3分後) そろそろ時間です。次に、ペアと文章の内容を確認しましょう。もしわからない所があれば、ペアで確認してください。 (3分後) そろそろ時間です。(学生カードを引いて)では〇〇さん、この文章はどのような内容でしたか？ (答えてもらう) はい、ありがとうございます。そうですね、この文章は、自分が住んでいるところの周りに何があるか教えてほしいという内容でした。 全体でも、一度内容を確認しましょう。 (内容の確認をする)</p>	<p>プリント</p>
<p>16:16～ 16:28</p>	<p>自分の住んでいる所の周辺</p>	<p>自分の住んでいる所の周辺環境について話してもらおう。この場面では、どんな情報を書くといいか、考えてもらおう。池袋の紹介を</p>	<p>プリント、</p>

(10分)

環境について
話してもらおう

もう一度する。

PPT

自分の住んでいる所の周辺環境について話す：

では、一度、みなさんが今住んでいるところの周辺環境について、ペアで話してみてください。時間は2分くらいです。では、どうぞ。

(2分後)

そろそろ時間ですね。どんな話をしたか、聞いてみましょう。(学生カードを引いて)では〇〇さん、住んでいる所の周辺環境はどうですか？

(答えてもらう)

ありがとうございます。

では、LINEの返信を書き始める前に、すこし考えてみましょう。自分の家の周りの様子を知りたい人は、どんな人ですか？(学生カードを引いて)〇〇さん、LINEを送る相手は、どんな人ですか？

(答えてもらう)

はい、そうですね。日本人で、大学生で、韓国語があまり話せない人ですね。

では、その人は、どんなことを知りたいんだと思いますか？周辺環境について教えてほしいと書いてありましたが、周辺施設にもいろいろありますよね。そのあたりから一番近い観光地を知りたいのでしょうか？おしゃれなカフェを知りたいのでしょうか？安くご飯が買えるスーパーを知りたいのでしょうか？ペアで話してみてください。

(5分後)

では聞いてみましょう。(学生カードを引いて)〇〇さん、どんな話をしましたか？

(答えてもらう)

(何人かに聞く)

はい、いろんな答えが出ましたね。[出た答えを読み上げる]

LINEの返信をする相手は、日本人で、韓国語があまり話せません。その人が一番知りたいのは、おすすめの観光地とかではなくて、生活するために必要な施設がどこにあるか、ですよ。

池袋の紹介をもう一度する：

私はさっき、池袋を紹介しましたよね。ここで、池袋の紹介をもう一度、今度は「池袋に引っ越してくる人」に向けてやってみたいと思います。

池袋は本当に便利な街です。池袋の地下にあるスーパーは、野菜がとても安いです。ただ、野菜以外は少し高いので、サンシャインシティの近くにあるスーパーで買った方がいいです。

食べ物以外の買い物をするなら、池袋の東口がお勧めです。(池袋は東口側と西口側で分けられることが多いんです。)ユニクロやGU、ZARAもありますし、池袋駅直結のPARCOやLUMINEというシ

		<p>ショッピングモールでは、安い洋服も、高めの洋服も買えます。ニトリという家具のお店も池袋だけで2店舗あるので、生活には困りませんよ。ほかにも、銀行や郵便局も東口に全部あるので、手続きは全部東口側で出来ると思います。</p> <p>ただ、注意してほしいことがあります。池袋は、場所によっては本当に治安が悪いです。昼間でも、ナンパや宗教勧誘されたりします。夜はもっとひどいです。西口は居酒屋がたくさんあるので、夜は酔っ払いやナンパが本当に多いので、行かない方がいいです。少し暗い道も多いです。</p> <p>東口も、サンシャイン通りという名前の通りの近くは、治安が悪いです。</p>	
16:28～ 16:43 (15分)	返信を書く	<p>LINEの返信を書いてもらう。</p> <p>返信を書く： では、ようやく！LINEの返信を書いてみましょう。これは成績には関係ないので、気楽にかいてくださいね。今話したことに気をつけながら、プリントに書いてみてください。わからないことがあったら、ペアに聞いたり、私に聞いたりしてくださいね。添削をしたいので、スマホやタブレットに打ち込むのではなく、紙に書いて出して下さい。</p>	プリント
16:30～ 16:45 (2分)	書いた文章を提出してもらう	<p>書いた文章を提出してもらう。</p> <p>提出先の案内をする：みなさん、そろそろ書き終わりましたか？書き終わった人は紙を回収します。書き終わってない人は、すこし急いでください。授業が終わるまでに回収します。</p>	PPT
16:45～ 16:50	授業アンケート	<p>授業アンケートを書いてもらう。</p> <p>授業アンケート： 最後に、この授業についてのアンケートを書いてもらいます。昨日と同じで、スクリーンにQRコードを出しているので、そちらから回答してください。 先生は韓国語が読めないで、日本語で書いてくださいね。このアンケートは成績に全く関係ないので、思ったことを自由に書いてください。</p>	PPT
宿題	なし		

住まいと住環境	理解	家の周りの環境（方角や正確な位置/公共の施設）について、おおよその様子を理解することができる。
住まいと住環境	やりとり	家や部屋の様子（日当たりがいい、南向き、散らかっているなど）や家の周辺について、おおよその様子をお互いが理解できる程度にやり取りできる。
住まいと住環境	表現	家の周りの環境（近くにある建物、静か／にぎやか、駅から近いなど）について表現できる。

1 時間目

詳しく自己紹介。方角や位置などの、住まいに関連する単語の導入。

「～があります」「～がいます」などの文系の確認。

「上に何があります」「おいてあります」などの少し踏み込んだ語彙。

2 時間目

教師が例文を提示。1 時間目に習った文型を使用して、3 人ほどのグループで理想の部屋、家を考えてもらい、その様子を説明する文を作成してもらう。

後半は2グループ合同で、考えた家や部屋の様子について発表してもらう。

3 時間目

前回の復習。教師（私）が、実際の自分の家を用いて次回行う発表の例文を紹介。

1, 2 時間目に習った表現だけでなく、「綺麗です」や「日当たりが良いです」などのより細かい説明文を導入。

実際に理想的な家をいくつか示し、生徒にはその中から1つ選んでもらい理由を文にしてもらう。

4 時間目

自分の家や部屋の様子や、家の周りの環境について、5 人程度のグループ内で発表。ワークシートを配布し、そこに自分以外のグループメンバーの発表内容を書き込んでもらうことで、メンバーの発表内容を理解できているか確認。

予習：自分の家や部屋の写真や、地図などの画像を用意する。

時間	活動ごとの目標	活動	評価ポイント	教材
10分	この授業で扱う表現に慣れる。	【導入】 教師が自己紹介。その際、教師の家や部屋の様子について簡単に説明。	授業の最終目標を意識し、教師の言葉に耳を傾けることができるか。	自己紹介スライド
15分	住まいに関する単語を覚えることができる。	【単語の紹介と暗記】 ① 方角や位置など、住まいに関する単語を、イラストを載せたスライドを用いて紹介。 ② 全員で2度ほど暗唱。 ③ イラストのみのスライドに切り替え、生徒を指名して単語を答えてもらう。 ④ 習った単語を用いて、間取り図が載ったプリントを用いて簡単な作文。 ⑤ 何人か指名して作成した分を答えてもらう。答え合わせも兼ねる。	②で積極的に声を出して暗唱しているか。 ③で正確な単語を答えることができるか。	単語紹介スライド
5分	既習の表現を使いこなすことができる。	【既習の表現の確認】 ① 「～があります」「～がいます」という表現の復習。 ② イラストを提示し、生徒を何人か指名して、イラストの状態を上記の表現を使用して表してもらおう。	既習の表現を使いこなすことができるか。	イラストを載せたスライド。
20分	新しい表現を正しく使用することができる。	【踏み込んだ表現の導入】 ① 「～が置いてあります」「～が飾ってあります」などの、少し踏み込んだ表現の紹介。 「皆さん、A1 でて形をやったのを覚えていますか？「置く」ので形は何ですか？」 ② イラストを示し、①で習った表現を使って作った文を紹介。 ③ ②で紹介した文を生徒に答えてもらう。 ④ 部屋の様子が載ったプリントを用いて、習った表現を元に作文。 ⑤ 何人か指名して作成した文	新しい表現を正しく使用して文を作成できているか。	新しい表現の紹介スライド。 プリント。

		を答えてもらう。(答え合わせも兼ねる)		
10分		休憩		
10分	次に行う活動の内容を理解する。	【導入】 ①実際の家や部屋についての文を作ってもらうことを予告。 ②例として、教師の家、部屋の様子を表した文を提示し、読み上げ。	次に行う活動内容を理解し、教師の説明に耳を傾けることができているか。	教師の実際の家や部屋の様子を示したイラストと文。
20分	1時間目に習った表現を使って作文できる。	【実際の家や部屋の様子についての作文】 ①作文用紙を配布。 ②実際の自分の家や部屋について、1時間目で習った表現を用い作文するよう指示。 ③各々作文。その際、文が上手く作れない人がいれば、教師が周ってアドバイス。	1時間目に習った表現を使い、他人にも伝わるように作文できているか。	作文用紙
15分	自分の家や部屋の様子について、説明することができる。	【グループ内で作文の発表】 ①グーグルスライドの提出順に4, 5人のグループを作成。 ②グーグルスライドにある写真を手に、1人ずつ作文を発表。	相手に家や部屋の様子が伝わるような文を作れているか。合図地を打ちながら人の発表に耳を傾けられているか。	グーグルスライド
15分	文を聞いて実際の家や部屋の様子を正確に想像することができる。	【作文の発表】 ①教師が作文を回収。 ②また別の4, 5人ほどのグループを作成。 ③教師が作文をランダムに読み上げ。生徒はグループで、教師が読み上げた作文は誰が作成したものなのか当てていく。早押しクイズ形式で、1番多く正解したグループが優勝。作文を全て読み上げる前に正解しても、作文は最後まで読む。	文を聞き、家や部屋の様子を正確に想像することができているか。	

時間	活動ごとの目標	活動	評価ポイント	教材
5分		前回優勝したチームにソンムルを渡す。 (リラックスさせる目的)		
5分	前回の内容を思い出すことができる。	【導入】 ①前回の授業で習ったことを復習。(「前は、方角や位置に関する単語や、「～があります」「～がいます」という表現を習いましたよね?」) ②「今回の授業の目標は、家の周りの環境について、説明することができる、です」と目標を伝える。	前回の内容をきちんと覚えているか。	
20分	住まいに関する詳しい表現や、家の周りの環境についての表現を覚えることができる。	【表現の導入】 ①「日当たりが良いです」など、住まいに関する詳しい表現を、イラストを載せたスライドを用いて紹介。 ②全員で2度ほど暗唱。 ③イラストのみのスライドに切り替え、生徒を指名して単語を答えてもらう。 ④家の周りの環境についての表現に関しても、同様に実施。	住まいに関する詳しい表現を覚えているか。	詳しい表現を載せたスライド。
20分	家の周りについての表現を使いこなすことができる。	【表現のアウトプット】 ①席が近い人同士でペアを作成。 ②先ほど習った表現を使って、ロールプレイを実施。空欄に好きな文字を当てはめ、オリジナルの文を作ってもらおう。 ③教室を回りながら、発表してもらおうペアを決める。 ④面白そうなペアを2, 3組ほど当てる。 ⑤習った表現を地図が載ったプリントを用いて練習。 ⑥まずは文を書いてもらい、	家の周りの環境についての表現を上手く使っているか。	プリント

		その後時間があればペアワークで会話の練習。 ⑦実際の自分の家の周りの環境について紹介する文を作成してもらおう。 ⑧3, 4人ほどのグループで発表。		
10分		休憩		
10分	次に行う活動の内容を理解できる。	【次に行う活動の紹介】 ①グループで仮想の家や部屋を選んでもらい、その理由を示す文を考えてもらうことを伝える。 ②教師が例を提示。 ③グループ分け ④スライドに理想的な家の選択肢を4つ提示。	次に行う活動の内容を意識し、教師の話に意欲的に耳を傾けることができるか。	理想的な家、部屋のイラスト
5分	グループで協力して活動することができる。	【ドラフト】 ①イラストの中からどれを選ぶか、グループで話し合ってもらおう。 ②じゃんけんなどで選択。 ③教師がそれぞれの班に、前に移したスライドと同じものを印刷して配る。 ④他の班に自分たちが選んだ、自分たちが住む仮想の家、部屋をプレゼンするつもりで文を作ってください、と伝える。	積極的にグループ活動に参加しているか。	
15分	グループで協力して作文することができる。	【作文】 ①15分間作文してもらおうことを伝える。 ②グループで協力しながら文を作成。1つの写真につき1人担当者を作り作文してもらおうが、皆で協力してアイデアを出し合いながら作文しても良いと伝える。 ③時間が余ったグループは、配布したプリントを手に発表の練習。	グループで協力して作文できているか。	作文用紙

20分	魅力的なプレゼンをすることができる。	<p>【発表】</p> <p>①グループごとに作成した文をインタビュー形式で発表。その際、後ほど投票の時間があることを伝える。自分が担当した写真のみに集中するのではなく、グループで協力してほしいので、インタビュー形式で発表。</p> <p>②どのグループが1番良かったか、投票。1位だったグループにはソンムル。</p>	<p>習った表現を使い、魅力的な発表ができているか。</p> <p>他のグループのプレゼンに積極的に耳を傾けることができているか。</p>	
-----	--------------------	--	---	--

B1-1 クラス 9月12日(火) 15:00～ トピック【自分と身近な人々(やりとり)】教案

目標		自分や身近な人々の特徴(性格・長所・短所)について、学んだ語句や文を使って、ある程度想像的なやりとりができる			
時間	目的	教具	教師の言語行動	学習者の言語行動	備考
0:00	出欠確認		こんにちは。 みなさん今日のお昼ご飯は何を食べましたか。 私は……	日本では3時は「おやつ」です。 みなさんはどんな「おやつ」が好きですか？ おすすめがありますか？(質問) 食べ物つながり	星座になりたい
0:05	導入	PPT	みなさんは何人家族ですか。 私の家族構成を覚えていますか？ 私は、父と母と妹と私の4人家族です。 私の父はたかしといいます。会社員です。優しいので、めったに怒りません。 私の母はのりこといいます。建築士をしています。心配性なので、毎日LINEを送ってきます。たとえばこんな感じですよ。 私の妹はわかるといいます。高校生です。料理やお菓子を作るのが得意です。 また、猫を一匹飼っています。名前は「あずき」といいます。とても可愛くて、毎日癒されています。	○人家族です／○人います	←料理、お菓子の写真 ←アズキの写真
0:10			次に、日本で一番有名な家族を紹介します。韓国ではどうでしょう？ みなさんはこれを見たことがありますか。 日本で40年以上(何年から?)放送しています！ (サザエさんの絵を見せる) その頃、韓国では何がありましたか？ これが、日本の国民的アニメ「サザエさん」です。 サザエさんには、家族がたくさんいます。 (家系図を見せる) 家族の名称(一部は先週している)復習に使えるか？ この人は、波平といいます。 答えさせる)父です この人は、フネといいます。 母です この人は、カツオといいます。 息子(長男)です この人は、ワカメといいます。 次女です この人は、マスオといいます。 義理のお父さんです、タラちゃんのお父さんです この人は、タラオといいます。タラちゃんと呼ばれています。カツオ、ワカメの甥です それでは、サザエさんの家族の様子についての映像を見てみましょう。	あります／ありません	サザエさんの家を住環境でも題材にできるのでは
		YouTube	https://www.youtube.com/watch?v=k2HF-tBYcLk 00:05:02～00:06:09, 00:36:37～00:37:36, 01:38:44～01:39:51 のいずれか？	リンク切れに備えてダウンロードしておく	
		ワークシート	(ワークシートを配布) いつまでに準備できるか？ ECLASS または 当日？ 今配ったワークシートには、サザエさんの家族の絵が載っています。 今見た映像と単語リストを元に、隣の人とサザエさんから見てどういう関係の人で、どのような人なのか話し合ってみましょう。わからないことは調べたり、先生に聞いてみてください。 ペアワークのメンバーや席はどのように決定するのか？ 当日 または 指定席？	ヒントになるよう、家系図をスクリーンに表示させておく。	

0:20			(巡回)	ペアワーク	YONA YONA WEEKENDERS
0:25	PPT		そろそろできましたか。 それでは、順番に聞いていくのでそれぞれどんな人だったか答えてみてください。 波平はどんな人ですか。 (1 ペア発表することに全員と確認) (1 キャラザつスライドに正解を表示させながら進行)	波平はサザエさんの父です。等	
0:35	ワークシート		それでは、次はみなさんの家族を紹介する番です。 ワークシートの裏面を見てください。 空欄を埋めながら、自分の家族を紹介する文を書いてみてください。 必ず一人は書きましょう。時間が余った人は、二人目や三人目を書いてみても良いです。 例として、授業の最初に紹介した私の家族についての紹介文を写しておくので、参考にしてください。	プリント記入	aiko 導入でした自分の家族紹介の文をスライドに表示
0:40			(巡回)		
0:45			みなさん書けましたか。 それでは隣の人に自分の家族を紹介してみよう。 プリントに書いてある通り、紹介を聞く方は、「あなたの家族について教えてください」と聞いてください。 (巡回) せっかくなので何組かランダムに選んで発表してもらおうのはいかがでしょうか？	ペアワーク	
0:45			そろそろ終わりましたか。 みなさん、相手の家族について知ることができましたか。 これでみなさんは自分の家族について紹介することができるようになりましたね。 ここまでで何か質問などがありますか。 それでは 10 分間の休憩に入ります。		藤井風 Ditto カバー

B1-1 クラス 9月12日(火) 16:00～ トピック【自分と身近な人々(表現)】教案

目標 自分や身近な人々の特徴(性格・長所・短所)について、ある程度まとまった内容を表現することができる					
時間	目的	教具	教師の言語行動	学習者の言語行動	備考
0:00			それでは授業を再開します。		藤井風 死ぬのがいいわ シーフードでピン と来てなかったら 澤井先生が嫌いな 食べ物を覚えている かな?
0:05		PPT	<p>気づいた人もいるかもしれませんが、さっきの時間で紹介したサザエさんとその家族の名前は海や海産物(シーフード)に関係のある名前がつけられています。</p> <p>たとえば……(PPT で実物の写真を見せながら説明、韓国語ではなんと言うのか教えてもらう)</p> <p>好きなシーフードがありましたか? 食べる時に日本語を思い出してくださいね!</p>		
0:10			<p>ということで、さっきの時間では、自分の家族について紹介してもらいましたが、ペアの人の家族について覚えていますか。復習も兼ねて、自分のペアの家族について、別のペアの人たちに発表してみましょう。</p> <p>1人1分程度で、覚えている範囲で良いので、ペアの人の家族1人について知っていることを話してみてください。チェック時間は今から5分です、スタート!!</p> <p>(前後4人のグループになる)</p>	互いにペアの家族について紹介	ボルカドットステイングレイ 自分のペアが複数人家族を紹介していた場合でも、そのうちの一人で構わない。
			<p>はい～時間です。</p> <p>それぞれの家族について紹介しあうことができましたか。</p> <p>それでは、次はもう少し長く、詳しく紹介する練習をしてみましょう。</p> <p>次は、皆さんの好きな人について紹介してほしいなと思います。</p> <p>自己紹介をする時に、趣味や特技について話しましたね。</p> <p>私の趣味を覚えていますか。</p>	音楽を聴くことです/漫画を読むことです	答えが出てこなかった時の対処は?
			<p>そうです、音楽を聴くことと、漫画を読むことです。</p> <p>どんな音楽が好きだったか覚えていますか。</p>	ずっと真夜中でいいのにです。等	
	例示		<p>そうですね、たくさん紹介しました。</p> <p>一番好きなのは、ずっと真夜中でいいのにですが、今日は他の人について紹介したいなと思います。</p> <p>私は、藤井風が好きです。</p> <p>職業は、歌手です。</p>		休憩時間に藤井風の曲を流しておく↓
			<p>出身地は、岡山県です。(地図を出す、岡山で有名なのは?)</p> <p>四人兄弟の末っ子です。(皆さんの中に末っ子がいますか?)</p> <p>聞いていて落ち着いたり、心が軽くなったりする曲を作るので、好きです。</p> <p>元気が出ない時や、悲しい気持ちの時に聞くのが、おすすめです。(今の気分はどうですか?)</p> <p>また、歌やピアノが上手いだけではなく、英語もとても上手です。</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=05qDe2BSwKA</p>	↑ファイルの準備はOK?

0:15			<p>なんと独学で英語を学んだらしく、自己紹介や曲の説明やインスタの投稿などは全て英語でやっています。こういった、日本に限らず全世界の人に自分の曲を届けようとしているところをとても尊敬しています。</p> <p>特に好きな曲は、「死ぬのがいいわ」です。(韓国でも有名ですか？タイトルは？)</p> <p>曲名は衝撃的ですが、歌詞を聞くと愛の歌だということがわかります。</p> <p>歌詞も好きなのですが、優しさと力強さが合わさった歌声が特に好きです。</p> <p>他にも、色々な曲をピアノの弾き語りでカバーしてYouTubeにアップしているので、ぜひそちらも聞いてみてください。</p>		
0:20		PPT	<p>どうですか。藤井風について全く知らなかった人も興味を持ちましたか？</p> <p>ただ紹介するよりも、もっと興味を持ってもらえるような工夫が、いくつもありました。</p> <p>少し時間をとる(具体的に何分?)のでペアの人や、周りの人と考えてみてください。</p> <p>(2~3分ほど時間をとる)(巡回) 後で発表してもらいます!</p>		話していない場合の対策は？ 赤い公園 どう声掛けをするのか？促すのか？
0:30		プリント	<p>では、何人かに聞いてみます。 (5ペアほど指名して回答してもらう)</p> <p>では改めてポイントを解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～ので好きです ・おすすめです ・～だけではなく ・尊敬しています ・特に～ ・ぜひ <p>など、他にも生徒からあがったものについてPPTで説明</p> <p>このような表現は、自分の好きな人を紹介するときに役立ちます。</p>		
			<p>ということで、次はみなさんの番です。</p> <p>今から配るプリントを元に、自分の好きな人について紹介する文章を考えてみましょう。</p> <p>わからないことがあったら調べたり、先生に聞いてみてください。</p> <p>(プリント配布)</p> <p>(巡回)</p> <p>書けた人は、近くにいる先生にチェックしてもらってください。</p> <p>多分、森山先生は「なぜ自分で解決できる範囲でやらなかったのか？本来、教室では一人しか教師はいないんですよ。理由がありますか？」ってことになる。</p> <p>なので対策としては今日は○人の日本人ゲストがいますからアドバイスを受けてもいいですよ！にしてみましょ。</p>	順序を変えて先にメモと発表用にプリントを先に配布をしておき、発表の際はそのメモを見て最後に発表してもらうのほうがスムーズかも。 <p>プリント記入</p>	ジャズ (Bill Evans) か、宇多田ヒカル
					文法や語彙の確認、間違いがあれば指摘。その場にいる実習生にも協力してもらおう。早く完成してしまった生徒には、さらに情報を付け足したり、読み方の確認をするよう言う。

0:40		<p>そろそろ書けましたか。 それでは、ペアの人に自分の好きな人について紹介してみましょう。 もしチェックが終わってなくても大丈夫です。自信を持って発表してください。</p> <p>(巡回)</p>		
0:45		<p>それではここまでにします。</p> <p>みなさん、ペアの人の紹介はどうでしたか。</p> <p>最後に何か質問などがありますか。 また、さっき書いた紹介文のチェックが終わっていない人がいたら、この後、直接聞きにくるか、カカオトークで写真を送ってもらえればチェック、コメントをします。 それでは今日の授業を終わりにします。お疲れ様でした。木曜日に会いましょう！！</p>	ペアワーク	<p>羊文学</p> <p>時間があれば2, 3人に発表してもらおう</p>

B1-1 クラス 9月14日(木) 15:00～ トピック【住まいと住環境(理解)】教案

目標 住居の大きさや構造に関する説明を辞書を使って読んだり事前に関連情報を得たりして、理解できる。					
時間	目的	教具	教師の言語行動	学習者の言語行動	備考
0:00	出欠確認		こんにちは。 (前回の宿題で良かった人に読んでもらう・全体のフィードバック)		選定は終わりましたか？
0:05			前回の授業で何をやったか覚えてますか。 そうです。家族や、自分の好きな人について紹介しましたね。 その時に紹介した、日本で一番有名な家族のことを覚えていますか。 そうです、サザエさんです。 今日は、サザエさんの家について見ていきましょう。	家族の紹介です 自分の好きな人の紹介です サザエさんです	反応がなかったときの備えは？
		PPT	これは、間取り図です。韓国語では？？発話を促す 間取り図とは、部屋の配置を上から見た図のことです。 韓国の間取り図と違うところがありますか。 サザエさんの家を4LKといいます。 「L・D・K」って何かわかりますか。 Lがリビング、居間とも言います。 Dがダイニングです。ご飯をたべるところ Kがキッチンです。だいどころですね！ この間取り図を見ると、この家にはどこにもダイニングがありませんね？ そして、リビングとキッチン、浴室の他に、4つの部屋あるので、それで4LKとなります。	ここが違います／同じです	4LKを板書 英語を板書
0:10		動画 プリントを穴埋めしながら	サザエさんの家の中を紹介する動画があるので、それを見ながら確認していきましょう。 (動画を見て一時停止しながらそれぞれの部屋について説明) ・居間 ・台所 ・寝室 ・客間(ここは何をする部屋でしょうか？問いかけゲストルーム) ・廊下 ・縁側 ・お手洗い(トイレ) ・玄関 ・洗面 ・お風呂		https://www.youtube.com/watch?v=W0apnngIx0k&t=404s

0:20			<p>ざっと日本の伝統的な家を見てきましたが、みなさんはこの家に住みたいと思いましたか。</p> <p>もし日本に留学や仕事でしばらく一人暮らしをすることになったらどんな家に住みたいですか。</p> <p>今日は、もしそうなった時にどんな家に住みたいのか言えるように、家の大きさや構造について理解できるようになりましょう。</p> <p>それでは、今から2つの間取り図と、それぞれの家に関する情報のプリントを配ります。</p> <p>みんなで一緒に言葉を確認したあと、グループでそれぞれの家の特徴について話し合ってみましょう。</p> <p>それではまず言葉の確認をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間取り ・築〇年 ・畳/帖 ・マンションとアパートの違い ・家賃（敷金、礼金は？） <p>等の用語を確認</p>	<p>はい/いいえ</p> <p>〇〇な家に住みたいです 等</p>	<p>イメージのための例示</p>
0:25	プリント		<p>それでは、グループでこの3つの質問について考えてみてください。</p> <p>問1. それぞれの家の間取りは何ですか。（さっき勉強したLDKのこと）</p> <p>問2. それぞれの家の長所と短所は何ですか。（例えば・・・）</p> <p>問3. もし住むとしたらどちらの家に住みたいですか。また、なぜその家を選びましたか。（巡回）</p>	グループワーク	理由をどのくらい述べさせるか？
0:30			<p>そろそろできましたか。</p> <p>では、どんな答えが出たか教えてください。</p>	(1グループずつ当てて答えてもらう)	
0:40	音声		<p>それでは、最後に私が住んでいる家について説明した音声を流します。</p> <p>2回流すので、どんな家なのかプリントに書いてください。</p> <p>(音声を流す)</p>		
0:45			<p>それでは答え合わせをします。</p> <p>(自由に発言させながら一つずつ確認)</p>		時間が足りなかったら後半に回す
0:50			<p>それでは10分間の休憩に入ります。</p>		

B1-1 クラス 9月14日(木) 16:00～ トピック【住まいと住環境(理解)】教案

目標 住居の大きさや構造に関する説明を辞書を使って読んだり事前に関連情報を得たりして、理解できる。					
時間	目的	教具	教師の言語行動	学習者の言語行動	備考
0:00	導入		それでは授業を再開します。 (昨日食事中にカメムシが出た→将来住むなら虫の出ない家に住みたい という内容の雑談兼導入)	カメムシの写真準備	
0:05			虫が出ないことも大切ですが、他にも私はこのような条件を求めます。 ・窓が大きく、日当たりが良いこと(東西南北+向き) →その方が部屋が明るくなり、気持ちよく過ごせるから ・駅が近いこと(駅チカ、駅ナカなどの言葉紹介) →みなさんは近くに何がほしいですか。(先生は・・・) ・収納が多いこと →「収納が多い」の説明	韓国語で確認する(発話を促す) 代表的な「害虫」を例示する	
0:10			収納が多い家の中には、何があると思いますか。 たとえば服をしまう場所は… しまう←いれる 他にはどんなものや場所がありますか。 前半の授業では、家の構造について学びました。 今日の授業ではなにが目的かしていますか。 日本で一人暮らしをすることになったらどんな家に住みたいのか言えるように、家の大きさや構造(つくり)について理解できるようになることです。 間取り以外にも、住みたい家の条件はたくさんあるはずです。間取りの説明は？ 日本の大学生が、家を借りたい時に重要だと思った条件ランキングTOP10を調べたので、グループのみんなで予想しながらプリントを書いてみましょう。 (プリント配布) グループワークを始める前に、プリントの単語を一緒に確認しましょう。	クローゼットです 押し入れです (それぞれ韓国語では？)	押し入れ→ドラエ もんの絵を見せると伝わりやすいかも 間取りってこれです例示 グループ分けはいつする？

0:20		<p>プリントに載せる単語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日当たり ・家賃（敷金や礼金は？） ・バス・トイレ別↔ユニットバス ・立地 ・キッチン（台所） ・セキュリティ（オートロックなど） ・騒音や治安（周辺環境） ・間取り・階数 ・収納 ・駐車場・駐輪場 ・築年数 ・ペット可 ・設備 ・耐震性（地震の説明、頻度など） <p>それでは、グループのみんなでランキングを予想してみてください。</p> <p>（巡回）</p>	<p>本当に必要なものに限定する 詳しくしすぎて時間や説明が難しくならないように。</p> <p>グループワーク</p>	<p>参考 https://www.gaku-seikyosan.com/me dia/?p=3396</p>
0:25		<p>そろそろ終わりましたか。</p> <p>それでは、各グループの予想を聞いてみましょう。</p> <p>（各グループに聞く） （理由とともに正解発表）</p>		
0:35		<p>どうでしたか。もしかしたら意外なところもあったかもしれません。</p> <p>この中にみなさんが家を選ぶ時に大事にしたい条件はありましたか。</p> <p>プリントの裏面を見てください。自分がもし日本で一人暮らしをするとしたらどんな条件が重要だと思うか、少なくとも1つは選んで、理由と一緒に書いてみてください。</p> <p>（巡回）</p>	<p>プリント記入</p>	<p>作文させるのか？ 箇条書きにするのか？</p>
0:40		<p>そろそろ書けましたか。</p> <p>それでは、グループのみんなに発表してみましょう。</p>		
0:45		<p>ではここまでにします。</p> <p>最後にフィードバックを記入して、前回と同じように私に送ってください。</p> <p>何か今聞いておきたいことはありますか。</p> <p>それでは今日の授業を終わりにします。お疲れ様でした。</p> <p>集合写真を撮りましょう！！</p>		

「日本語 B1-1」 9/12 14:00~15:50 D324 T2 「住まいと住環境」 復習・理解
 前回で学習していること : T1 「自分と身近な人々」

対象者	釜山外大 A2 授業の修了者 18 名 (授業時間:50 分×2) 1 年生 14 名/2 年生 2 名/3 年生 2 名			
授業の目標・課題	<p>わかりやすい言葉で表現されていて、事前に関連情報が得られたり、辞書やネットを使ったりすることができれば、住居の大きさや構造に関する説明を読んで理解できる。</p> <p>時々、言葉選びに躊躇したり、相手に繰り返して聞き返したりすることもあるが、わかりやすい言葉ではっきりと発音してくれれば、学んだ語句を使って部屋の特徴や構造などについて、やりとりができる。</p>			
本日のゴール	<p>T1 の内容を復習し、表現までできる。</p> <p>A2 レベルの住まいと住環境について完璧に理解できる。</p> <p>不動産屋のチラシを見て、どのような状況にどの部屋が適しているか、判断できる。</p>			
指導項目	<p>【導入語彙】</p> <p>(～) 階建ての/間取り/玄関/最寄り駅/洋室/和室/木造/鉄筋コンクリート/高層マンション</p> <p>/～畳/帖</p>			
時間	活動毎の目標(課題)	活動 聞く読む 話す書く	教材/教具	台詞
5 分	本日のゴールがわかる。	<p>【授業開始・出欠確認】</p> <p>名前を呼んで出席者を確認する。</p> <p>本日のゴールを提示する。</p>	ボールペン・名簿	<p>皆さんこんにちは。実習生の****です。今日と木曜日の2回、私が授業をします。まず、プリントを3枚配ります。2-1の上を書いてある、トピック2のCan-doを読んでください。</p> <p>その間に、皆さんの名前を呼んで、出欠を確認します。</p> <p>今日の出席者は___名ですね。OKです。</p> <p>授業を始める前に、本日のゴールを確認します。本日。本日の意味は解りますか?どういう意味ですか?そうです、今日、という意味ですね。約2時間後、この授業が終わった時に目指す姿です。まず1番目、上のものを皆で読んでみましょう。せーの、2番目もみんなで読みましょう、せーの</p> <p>いいですね。将来、日本で一人暮らしをする時に、使える表現や言葉を知ることができる、ことです。これからやるワークや、知る言葉は将来の日本生活につながっていると、思ってみてくださいね。</p>
15 分	前回学習したことを振り返	<p>【自己紹介】</p> <p>教授者の家族の性格を紹介</p>	自己紹介スライド	さて、みなさんあまり私に詳しくないと思うので、まずは私の自己紹介を、詳しくします。同時に、先週のトピック1、「わた

	<p>り、思い出すことができず。教授者の自己紹介がわかる。自分の名前をカタカナで表現できる。自分の性格を表現できる。</p>	<p>介。 どんな性格だったか振り返る。</p> <p>【名札を書く】 名前を大きく・濃く書いてもらう。前で名札カードと例を出し、折り方も説明する。</p>	<p>名札カード 名前・自分は____い/な人で す</p>	<p>しと身近な人々」の復習もしましょう。 —自己紹介— ～～です。はい、私は、私と家族の性格について、どのような表現をしていましたか？ そうですね、父は、面白くて頼もしい。母は、穏やかで優しい。姉は活発で明るい。私は、内向的だけど、人と話すのが好き、でしたね。 先週のプリントには性格や外見を表す言葉がありました。覚えていますか？これらの言葉や、それ以外の言葉を使っても良いです、これから皆さんに「名札カード」を作ってほしいです。 —名札台紙— 前を見てください。真ん中の線の上に、名前を書いてください。 私が見えるように大きく・濃く書いてください。ポスカ・ペンを回します。1つ好きな色を取って、後ろや横に回してください。 その下に、自分の性格・特徴を書いてください。あなたはどんな人ですか？私に教えてください。 このカードは、今日と木曜日に使います。忘れずに持ってきてください。 名前を書いたら、4つに折ります。線で、紙を折ってください。前に立ててください。完成です。では作りましょう。</p>
<p>5分</p>	<p>トピック2にこれから入ることを学習者がわかる。</p>	<p>【スキーマ作り】 本日の授業内容は「住まいと住環境」であることを導入する。 学習者同士が、A2レベルで取り組んだ内容をもとに、部屋の様子について話す。 この活動や紹介が、将来日</p>	<p>授業スライド ↑画像を多くする。</p>	<p>皆さんA2の授業で、住んでいる部屋について学習したことを覚えていますか？ A2の「住まいと住環境」の授業で取り組んだことを話していきましょう。私ばかりが話してもつまらないので、皆さんの「住まいと住環境」について、教えてください。 ____さん。私は、日本では家族と一緒に住んでいます。____さんは誰かと一緒に住んでいますか？（3人くらい当てる） 反応例： 生徒の返答をリピートするのも、学習者の聞き取りのサポートになる。 一人暮らしですか。大変なこととか無いですか？ そうなんですね、住んでいるところの自</p>

		本で一人暮らしするときなどに使えるトピックです。場面で使えるかを説明する。		慢・アピールポイントはありますか？
7分	A2 レベルの「住まいと住環境」に関する理解・やり取りができる。	【理解とやり取りの復習・確認】 A2 レベルの T2 について、内容を確認し復習する。 確認方法：生徒の部屋の様子や、部屋の中・周りについて、2人で、ある程度決まった型でやりとりさせる。		良いですね。今度は、隣の人・周りの人と話してみましよう。 あなたはどんなところに住んでいますか？その部屋の中には、どこに何がありますか？ 住んでいる部屋を説明してみましよう。 プリントの、机とベッドが並んで etc あります という表現は、おかしいです。本当は机とベッドが並んでいます。ですね。意識できる人はそこの違いも考えて答えましよう。 ポイントは、質問した後にその人がいったことを、私に説明できるくらい聞くことです。日本語で隣の人について紹介できるくらいにしましよう。プリント「私の部屋」の部分を参考にしながら、話してみましよう。
12分	A2 レベルの「住まいと住環境」に関する表現ができる。	【表現の確認】 配布プリントに、A2 で取り組んだ語彙を記載。それを日本語で書けるか確認する。 単語と作文。 単語の答え確認は全員で、文章は当てつつ正解例を前に表示する。	PPT に部屋の写真を記載。	では前を向いてください。やり取りできていて、良いですね。 次は、前に習った単語と、表現の確認をしましよう。プリントの裏、2-2 に行きます。「A2 復習_単語」と書かれている部分を使います。韓国語の横に日本語を書きましよう。何も見ないで、「あーこれなんだっけ、、！」って思い出そうと頑張ると覚えやすくなります。どうしてもわからないものは、スマホで調べても OK です。時間はいったん3分とります。始めてください。 はい、3分経ちました。まだ途中の人も、答え合わせしましよう。全体はこんな感じになります。何も見ないでかけたものはいくつありましたか。たくさんありましたか。ちがうところは書き写しましよう。この答えはだめですか、という質問があれば、教えてください。

				<p>ひとつずつ軽く見ていきましょう。</p> <p>次は文章を書きます。この写真には、何がどこにあるか書きましょう。</p> <p>何がありますか。それはどこにありますか。何色ですか。文章に当てはめて書いてください。そのあとに、2人で話します。これは何というのかわからない、これは何色かわからない、などあれば、聞いてください。2分取ります。</p>
5分	ペアとのやり取りで、A2の導入語彙を適切に用いることができる。	<p>【表現の練習・軽いやり取り】</p> <p>軽く、ペアで、ある部屋の特徴について話し合う。</p> <p>A2レベルのやり取りで良いので、どこに何があるのか、何色かなどを聞く。</p> <p>その後、教授者が何人が指名して、ペアで話したことを聞く。</p>	PPTに先ほどとは異なる部屋の画像を用意。	<p>はい、今から2人で話しましょう。2分間、時間を取ります。できるだけ会話を続けましょう。</p> <p>—さんたちは、どういう話をしましたか。</p> <p>そうですね。この部屋にはソファと机、それから椅子があります。</p> <p>本棚の前には椅子があります。</p> <p>本棚と奥の机は茶色です。</p> <p>床にはマットがしいてあります。</p> <p>壁には時計がかかっています。</p> <p>部屋の隅には黒色のギターがあります。などの表現ができると思います。</p> <p>はい、ここまででA2の「住まいと住環境」の振り返りを終わります。10分間、休憩してください。何か質問がある人、先生に教えてください。</p>
10分	休憩			
時間が余ったら	Quizletで導入語彙・表現の確認を行う。			
1コマ目は復習と確認				
15分	導入する語彙を理解できる。	<p>【理解】</p> <p>不動産屋のチラシを提示する。</p> <p>以下の語彙を、実際に不動産のHPを見せながら導入する。</p> <p>木造/鉄筋コンクリート/高層マンション/～畳/帖/一軒家/</p>		<p>はいでは皆さん、授業を再開します。</p> <p>今からは、部屋探しということで、本日のゴールをもう一度見ます。さっきの時間で、A2の復習をしました。今からは2つ目ですね。</p> <p>「不動産屋のチラシを見て、自分やほかの人に合った部屋がわかる。」です。</p> <p>不動産屋のチラシ、というものは、こんな感じですよ。</p> <p>建物の名前が書いてあり、アピールポイント、魅力的な部分が載っていて、写真と間取り図があります。ここに不動産の名前や連絡先が載っているのが一般的ですね。</p> <p>南向き：「向かい」の字でできましたね。～向きには、方角が入ります。方角は何があり</p>

		(一) 階建ての/間取り/玄関/最寄り駅/洋室/和室		<p>ますか？</p> <p>徒歩は、歩く速さで距離をあらわします。徒歩一分、近いですね。徒歩8分。近いですか？オレンジの字でかいてあるもの、プリントでは☆がついているものは大事です。意味をメモしてみましょう。</p> <p>駅チカ。역세であっていますか？それです。</p> <p>(敷金・礼金の話は軽く。最近はなしが多いこと、払う場合は、最初だけ家賃よりもっとお金を払うことを説明。)</p> <p>…</p> <p>(一つ一つアニメーションで出していきつつ解説)</p>
5分	新たな表現を知り、学習者自身が住むときに外せない条件をかける。	<p>【理解】</p> <p>新たな条件・部屋の表現の具体例を提示。</p>		<p>ここは、木曜日の授業で詳しく意味を説明します。</p> <p>今は先生の言うことを聞いて、意味が分かるか、確認してください。プリントの「不動産屋で使う表現」に、自分が大事にしたい条件をメモしてください。</p>
16分	新たに知った表現のうち、2つ程度を自分の言葉で話すことができる。提示された情報を理解して、分析することができる。	<p>【活動の実施】</p> <p>2つワークを提示し、トリオか、4人で取り組んでもらう。</p> <p>①日本で一人暮らしする予定がある。どのような部屋が適しているか、やりとりをしながら書き出す。</p> <p>②不動産屋のチラシを見て、家賃や広さ、誰が何人で住むのに適しているかなどを分析する。</p>		<p>ここからは、少人数でワークを行います。さっきと同じように、皆さんは日本で一人暮らしする予定があります。</p> <p>自分が生活するならどのような部屋が良いですか。チラシと、ならった言葉の意味を見ながら条件を話してみてください。</p> <p>それをメモして後で私に教えてください。</p> <p>それが終わったら、不動産屋のチラシを見て、家の値段、お金や広さ、その他の条件から、どんな人が住む部屋なのか想像してみましょう。</p> <p>まず1番のワークについて、どんな条件が出ましたか。</p> <p>2番について、Aの家は誰が住みそうですか。なんでそう考えましたか。</p>

8分		<p>【活動の振り返り・教授者からのFB】</p> <p>①ここまでで出した条件は、不動産屋に行ったときに、希望として伝えることになりやすいこと</p> <p>②教授者が予想していた回答を出して説明する。家賃相場の話などができたらする。</p> <p>パウポに移動して、予想回答を出す。</p>		はい、前を見てください。
6分	今日の学習内容や、練習した内容を説明できる。	<p>【本日のまとめ】</p> <p>ゴールを再度提示する。そのゴールを達成できたか確認する。</p> <p>名札カードを忘れず持ってくるように再度アナウンス。</p> <p>Quizlet が埋め込んでであることを説明。</p>		<p>今日のゴールは、A2 授業の住まいと住環境について完全に理解できること、不動産屋のチラシを見て、どのような状況にどの部屋が適しているか、判断できることでした。これができたか、振り返ってみてください。今日練習した内容が、明日になっても友達などに説明できるか振り返って見てください。</p> <p>宿題の説明をします。Eclass にクイズを載せています。それに答えてください。10 分もかからずに終わると思います。</p> <p>木曜日の持ち物です。</p> <p>筆記用具・プリント・名札カードを持ってきてください。忘れないでくださいね。宿題も頑張ってください。では、これで授業を終わります。</p>
宿題		習った語彙や表現について、Quizlet のフラッシュカードに取り組む。	Eclass に埋め込む。	<p>埋め込み方：</p> <p>…から「エンベッド」</p> <p>「マッチ」じから「単語カード」に変更</p> <p>単語リストの HTML をコピー</p> <p>Eclass ページの「講義コンテンツ」→「ソーシャルメディア」→「ソースコード」に、コピーしたリンクを張り付ける。</p>

時間が 余った ら	9/14 の PPT を使って、不 動産屋で使う 表現を詳しく 説明する。	今回授業の網 羅的復習が行 えるプリント	
-----------------	---	----------------------------	--

「日本語 B1-1(03)」9/14 13:00~14:50 D328
T2「住まいと住環境」やりとり・表現

前回で学習していること： T2「住まいと住環境」理解
A2 レベル T2 の復習・B1-1 レベルの理解

対象者	釜山外大 A2 授業の修了者 18 名 (授業時間:50 分×2) 1 年生 14 名/2 年生 2 名/3 年生 2 名			
授業の目標・課題	時々、言葉選びに躊躇したり、相手に繰り返し聞き返したりすることもあるが、 わかりやすい言葉ではっきりと発音してくれれば、学んだ語句を使って部屋の特徴や構造などについて、やりとりができる。 準備をする時間が多少あれば、住居についてある程度まとまった内容を、簡単な語句を並べて表現できる。			
本日のゴール	不動産屋との実際のやり取りを想定した会話ができるようになる。 自分が住んでいる部屋・部屋の近くの雰囲気や条件を説明できる。			
指導項目	部屋の雰囲気・条件を表す言葉			
時間	活動毎の目標 (課題)	活動 活動毎の評価ポイント	教材/教具	台詞
10 分	本日のゴールがわかる。	【授業開始・出欠確認】 名前を呼んで出席者を確認する。 名札カードを持ってきているか確認する。 本日のゴールを提示し、詳しく説明を行う。	名札カード	こんにちは。今日も授業を始め ていきましょう。皆さん名札カ ード、持ってきましたか?火曜 日来ていなくて、今日は来た人 はいいますか? まずは出欠を取ります。今日 は、火曜日とはちょっと違うこ とをします。名札カードを、せ っかく作ったのに、全然使って いなかったなと思ったからで す。名前を呼ばれたら立って、 名札カードに書いた性格を言っ てください。例えば、「はい、* ***です。内向的だけど人と 話すのが好きです。」といいま す。 うんうん、___な性格なんで すね。
3 分		【グループ分け・活動の 説明】 4 グループに分ける。 サンプルとして、「この 物件の広さは~~で、部 屋の中は~~~になって います。」など分析結果 を文章化して、授業資料	不動産サイ トの物件ペ ージ 4 種類	1 分間、例を読んでください。

		に載せる。これによって文章を読むという活動を入れる。		
5分		<p>【活動 1-1:語彙】</p> <p>新しい言葉を見つけ、意味を予測する。</p> <p>自分で、単語リストの言葉を web ページから見つけ、意味を想像する。</p> <p>ふりがなをつけて、正しく発話できるようにサポートする。</p>	スライド	<p>わからなくても、どういう意味か想像してみてください。</p> <p>後で、グループの他の人に意味を聞く時間を持ちます。</p>
12分		<p>【活動 1-2 やりとり】</p> <p>グループごとに、スーモやミニミニか、何かの物件を提示する。4人で分析し、雰囲気や魅力・アピールポイントを分析する。</p>		<p>まず、新しい言葉で、い意味を知らないもの。それについて、グループで話してください。</p> <p>そのあと、この部屋の広さや配置、お金について分析してください。</p> <p>紹介します。紹介されます。</p>
12分		<p>【表現・やり取り】</p> <p>グループを解体して、4人が、自分が分析した物件の紹介をする。サンプルにそうと、5文程度になるため、条件の補足説明を他の人からの質問で補う形にする。</p> <p>聞いている人は、質問したり、会話する努力をする。</p> <p>相槌の説明もする。どのような相槌が自然か。</p>		<p>そうしたら次は、実際に不動産の担当の人と部屋に行きます。部屋の中では、どのような説明を受けますか？想像してみましょう。</p> <p>そして皆さんはそれに何と返しますか？</p> <p>短い時間の分析では、ここまで文章を作れなかったけど、こういうのも言いたい！っていうのがあるかもしれません。他のメンバーが質問してくれると、「ここもアピールポイントです」っていうのが出てくるかもしれません。良いスピーチのための、良い質問ができるの良いですね。</p>
7分		<p>【まとめ】</p> <p>理解し、それを自分の言葉で発話できているかを見る。</p> <p>皆のやり取りをFBす</p>	ホワイトボード使う。	<p>はいでは、いったん前を向きましょう。</p> <p>__さん。隣の__さんは、どんな部屋を紹介していましたか。</p>

		<p>る。 だれかを当てて、分析した部屋をどのように紹介してくれたか、説明してもらう</p>		<p>みなさん良いですね。ちゃんと紹介できたし、ちゃんと聞いてわかっている。良い感じです。 もし、日本で生活するとしたら、不動産屋さんからこういう紹介をされることもあるかもしれません。もっと遠い未来には、日本で不動産の会社に就職して、紹介することにもなるかもしれません。 説明をしつつ、会話を続けるという練習をしてみましょう。</p>
時間が余ったら		<p>今回授業の網羅的復習が行えるプリントに取り組む。 「補足プリント」 習った語彙の説明ができるか/表現を具体的に応用できるか を確認できるプリントを用意。 文章読解の量が少ないので、それが補足できる形のプリント。</p>		
10分		<p>休憩 【火曜日来なくて、今日来た子には、欠席理由などを聞く。】 【Eclass 開いて、タイピングで課題を出すところをつくっておく】</p>		
10分		<p>【表現_書く】 語句・表現を使って、話すこと、書くことを行うと説明。</p>		<p>今からは、もっと皆さんに身近です。 今住んでいる部屋や場所は、何が良いですか。 逆に、何が悪いですか。ここはいや、というところを教えてください。誰か言ってくれる人はいますか？ うんうん、そうなんです、__ __が良い。__ __（悪いところをリピートして）は？悪い。</p>
10分		<p>【表現_書く】 自分の住んでいるところ</p>		<p>例をみてください。私の住んでいる場所は、海雲台の近くにあ</p>

		<p>の良いところ、悪いところを書く。 本来 B1-2 でやることから、簡単でよい。 書いたものを、机間巡視で FB していく。</p>		<p>ります。おいしいご飯がすぐに食べられる場所です。住んでいる部屋はととても狭くて、机がありません。 と書いてあります。これは私の今の状況なのですが、これくらいの長さで良いです、書いてみましょう。時間は、いったん 14:20 までにします。 書き終わった人はいますか？他に書き終わった人はいますか？</p>
10 分		<p>【活動 2】 産出の活動。日本人留学生の物件探しの手助け ↓ 宿題を先に提示し、ゴールを示す。 2 コマ目は、宿題を半分終わらせるくらいの気持ちでいく。前半：どこに住むのが良いか。ネットで調べて、この物件が良いよってするのも OK だし、地名を書いても良いって説明をする。 後半：メールの文章を 200 字くらいにして、タイピングする。</p>		<p>宿題の説明が淡々としているので、適宜強調する。 また、文字数が長いので、例を出して、条件をある程度決まった形にする。(条件の箇条書きは、)</p>
				<p>今回の宿題で、話したときに 1～1 分 30 秒程度の長さになる作文をせよという説明。タイピングの練習として実施すること、この 2 回の授業で学習・練習したことが身に着いているかの確認であることを明示。</p>
10 分		<p>【例を読む】 東京にて住むなら、こういうところが良いというもの、教授者が例示。 学習者の話を見る。 答え合わせをじっくり行う。</p>		
10 分		<p>【調べもの・宿題に取り組む時間】 日本語に直すとどういう表現をするのかも、この時間に調べる。→教授者</p>		

		がサポートできると伝える。		
5分		【一週間の振り返り】 終わりの言葉		<p>これで、今日やりたいことはおわりました。</p> <p>2週間、温かい目でみてくれてありがとうございました。教室の中で話が広がっていく様子がわかって、とてもうれしかったです。</p> <p>皆さんが東京に来るときは、案内します。声かけてください。私の、はじめての教えた相手が皆さんです。これから何かにつけて思い出します。元気にしてるかなとか。日本に来るのかなとか。</p> <p>もしかしたら、もう一度、韓国にすぐ来るかもしれません。そのときは、皆さんの事、元気にしてるかなって、思い出します。</p> <p>最後に、実は、私の好きな、日本のお菓子があって、それをみなさんにあげようと思います。キャラメルです。知っていますか？</p> <p>帰るときに、ここまで来てください。渡します。</p>
時間が余ったら		韓日の徒歩圏内・駅チカ の許容範囲の話 シャワーとトイレ、お風呂 の話		
宿題		復習 1分程度の住みたい部 屋・家に関する作文を打 ち込んで提出する。	Eclassにて タイピング の練習を行 う。	
宿題の 評価		提出方法：**先生に 個々人がメールで送信。 **先生からメール経由 で**が受け取る。 提出期限 9/15：中間層も、メモが 完成している程度なら。		【評価方法】 一人ひとりを添削して、返却する。 添削・返却期限＝1週間以上か かってもOK。どんなに遅くとも、 28日までに返却する。

	9/17：できる学生は授業中にほぼメモが完成している程度なら。		
--	---------------------------------	--	--

【資料②：日韓学生フォーラム講演資料】

日韓学生フォーラム
한일 학생 포럼

韓国と日本の過去克服と和解のために

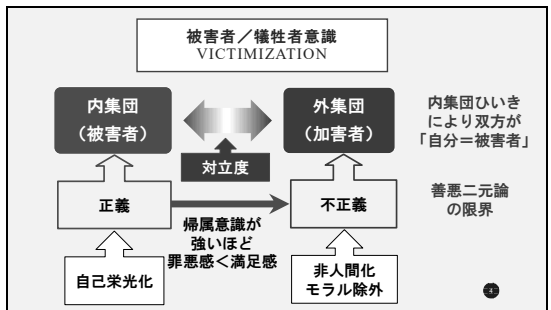
MORIYAMA, Shin (森山 新)
Ochanomizu University (お茶の水女子大学)

1

対立から和解へ

- ・ 対立：Conflict
- ・ 和解：Conflict Settlement / Conflict Resolution / Conciliation
- ・ 加害者：謙虚さ一反省・謝罪 集合的犯罪意識 (Collective Guilt)
- ・ 被害者：寛大さ一許し 集合的被害者意識

2



解決困難な集団間対立

集団間の対立が Identityの対立となると解決困難になる
→政治的手法(交渉)では解決できず、心理的手法(対話)が必要

敵対的/Zero-sum的 Identity

- ・ 自身のIdentityの維持には相手のIdentityを否定する必要
- ・ 相手の成功/達成=自集団の脅威
- 例) イスラエルvsパレスチナ、日vs韓も

→これらは和解にとって大きな壁となる

Brewer(2011)Identity and Conflict. *In Intergroup conflicts and their resolution: A social psychological perspective*

4

解決困難な対立を克服する

克服困難なコンフリクトをどう克服したらいいか
→Identityの変容が必要 (Identityの複合性)

- ① 包括的 Identity
- ② Dual Identity

→Ingroup favoritismの克服につながる

Bar-Tal, D. (2011). *Intergroup conflicts and their resolution: A social psychological perspective*. Psychology Press.

5

日韓の和解のために

- ・ 外的(政治・経済)・内的(社会・心理)リソースを総動員する必要
- ・ 両者が共同で問題を解決しようとする努力が必要
- ・ 共有できる価値観・ゴールを構築→協力的スキーマが活性化
- 例) 2002W杯共催
- ・ 相互の利害の対立克服には、相互尊重 (mutual respect) と相手の立場尊重 (perspective taking) が重要→パートナーシップ
- ・ 2段階での対応

Janusz Reykowski and Aleksandra Cislak (2011). Socio-psychological Approaches to Conflict Resolution. *In Intergroup conflicts and their resolution: A social psychological perspective*, 241-266.

6

日韓和解への道
REYKOWSKI ET AL. (2011)

- 対立克服
 - ・ 現在の問題に注目
 - ・ 未来に向けまず現在の問題を解決
 - ・ 実際のコンフリクトの除去
- 和解
 - ・ 過去の問題に注目
 - ・ 分けて行うことが重要
 - ・ 根本的、深層的コンフリクトの除去 (真の和解)

Janusz Reykowski and Aleksandra Cislak (2011). Socio-psychological Approaches to Conflict Resolution. *In Intergroup conflicts and their resolution: A social psychological perspective*, 241-266.

7

実習授業を見学して

清水郷美（お茶の水女子大学）

「日韓大学生国際交流セミナー」にティーチング・アシスタントとして参加する機会に恵まれた。日本語教育実習の日程に合わせて訪韓し、参加学生5名の教壇実習を見学した。また、日韓学生フォーラムにも参加した。

教壇実習見学では、多少の個人差はあったものの、5名とも総じて堂々とした振る舞いを見せていた。念入りの準備とリハーサルの上に臨んでいることが如実に表れていたと言える。また、実習後の振り返りが良かった。学生一人一人が気負うことも卑下することもなく、他者による評価を受け止めるとともに、自己のパフォーマンスを客観的に評価しようとしていた。「日韓大学生国際交流セミナー」を通じて、自己を相対的に見る目を既に獲得しているように思われた。

日韓学生フォーラムでは、授業で学んだことを土台に日韓の共生に向け今後何ができるかについて、韓国と日本の学生が共に語り合う活動が行われた。全体として和やかな雰囲気でも話し合いが進んだが、その過程で印象的だったのは、日本人学生のみならず釜山外国語大学の学生も、日韓の対話の重要性および複文化的視点の必要性を捉え、この類の授業の意義及び必要性を説いていたことだ。しかも、彼らはそれを日本語で語っていたのである。日韓学生フォーラムが着実にその成果を残していることを実感できた瞬間であった。

「複言語・複文化主義」にせよ、Can-doにせよ、これらの用語は日本語教育において既にある程度定着している。しかし、用語や理念として浸透していることは、必ずしも教育実践に活かされていることを意味しない。実際、何をどのように実践すれば、Can-doの考え方を最もよく体現した指導となり得るのかについて、日本語教師間で何らかの共通認識や合意が確立されているわけではない。まして「複言語・複文化主義」となれば、なおさらである。個人のなかに「複言語・複文化」的な視点やアイデンティティを育むこととはどのようなことで、それはいかなる方法で生じ得るものなのかについて、日本語教育の現場ではあまり議論されてきていないし、数多くの実践例があるわけではない。

そのような現状に鑑みれば、日韓学生フォーラムを含む「日韓大学生国際交流セミナー」は、「複言語・複文化主義」的な日本語教育実践モデルとして重要な価値を持っている。そのようなセミナーに参加できたことは貴重な経験である。私も含め、今回の参加者5名はその経験を今後も伝え広めていく一端を担っている。

日韓がともに生きる起点となれ

森山新（お茶の水女子大学）

「日韓大学生国際交流セミナー」は、今年で17回目を数え、戦後ヨーロッパを戦争から共生へと導いた「複言語・複文化主義」の考え方にに基づき、まずは韓国の言語と文化を学び、その上で日本の言語と文化を教えながら、東アジア人としての国際的な人材を育成するプログラムとして2016年より新たな出発をなした。

コロナ禍の影響でここ数回は残念ながらオンラインでの開催となり、実渡航での実施は久しぶりのことであった。釜山外大の各指導教員のあつい信頼と細かな手ほどきのもとに、教案の作成から模擬授業、事後の振り返りと休む間もなく実習に励む学生の姿は、それを見守る我々に大きな感動を与えてくれた。だれ一人として、教壇に立ち、日本語を教えた経験のない学生たちは、連日、夜遅くまで準備を行い、各自2回、合計4時間の授業の全てを教員に代わって担当した。皆、綿密な準備を背景に、ある時は大胆に、ある時は堂々と、そして明るく、教壇実習をこなしていた。

今年度はシティズンシップ教育としての側面を強化するため、9月15日に「第4回日韓学生フォーラム」を開催し、日韓が、そして東アジアがともに生きるために、自身は何ができるのか、対話と討論の場を持つことができた。今回参加した学生は皆、今年度前期に「言語と文化」の授業を通し、釜山外大の学生たちと、自身のアイデンティティや相手のイメージ形成といった内面を振り返ると同時に、現在も日韓両国間に残るセンシティブな諸問題について話し合った学生たちであった。オンラインでの交流に続いて、こうして対面でも釜山外大で日本語を学ぶ学生と交流を行うことで、彼らが今後両国の架け橋として大きく成長してくれることと信じている。

釜山外大とは2016年に国際学術交流協定が締結されたが、交流は2007年より始まっていた。2007年から毎学期TV会議システムを活用した国際合同遠隔授業を行い、両国に横たわる様々な問題、ステレオタイプ、コンフリクトなどを日常的に取り扱ってきたのをはじめ、2011年度からは、東日本大震災に端を発し、釜山外大からも学生を招き、世界8か国の学生が本学に一堂に会し、毎年「国際学生フォーラム」を開催、世界の災害に若者は何ができるかを話し合った。2015年には、戦後70年、日韓国交回復50周年を記念し、本学の学生35名を連れて釜山外大を始め韓国の3つの大学を訪問し、両国の過去、互いの良さ、そしてともに歩む未来について話し合った。その後もTV会議システムを用いた合同授業で、日韓の間に立ちほだかる国家のコンフリクトや個人のコンフリクトについて考えたり、日韓の歴史問題を扱い、共通教科書の作成を考えたり、自身のアイデンティティ形成や他者イメージ形成のプロセスを振り返り、日韓の個人的、国家的対立の原因が、社会化のプロセスの中で教育や報道などの影響を受けながら形成されてきたことなどを学んだ。そうした両大学による一連の歩みにより、日韓、さらには東アジアが、何とかこの困難を打開して欲しいと願ってやまない。

両国の学生たちは、ともに生きるための「複言語・複文化主義」に促され、ナショナリズムを克服し、積極的に交流を展開し、今まで以上に深い絆に結ばれた。それぞれのアイデンティティは、国家の枠を超え、より国際的なものへと成長したであろう。釜山外大の教員、スタッフの方々も、そのように大きく変わりゆく本学の学生たちを見ながら、苦勞の多い本プログラムの開催に大きな手応えを感じていた。

複言語・複文化主義は、他の言語・文化を学ぶことを通じ、母語と母文化を中心に今ま

で当然視していた価値観を相対化し、他の文化に関心と敬意を持つことで、ナショナリズムを克服し、ヨーロッパが、そしてアジアがともに生きるためのインターナショナルなアイデンティティ構築に寄与するとされている。もちろん、知識として、またスキルとして他の言語・文化を学ぶだけで、このような変化を引き起こすことは難しいであろう。しかし、それを積極的に促すために、フォーラムなどの交流の場を提供し、お互いに対する愛情と尊敬の気持ちを育み、正しい知識とナショナリズムを超えた視点に基づいて相互理解を深め、交流を行っていけば、対立を和解に、そして共生へと導く変化は着実に起こりうるということを今回のプログラムを通じて再度実感することとなった。

釜山の地はこれまで、日本と韓国の間であって、いくつもの悲しみといくつもの喜びを経験してきた。豊臣秀吉の時代にはまずもって日本の被害に合い、その後徳川幕府の関係修復により、朝鮮通信使派遣の起点となった。しかし植民地時代には、歌「釜山港に帰れ」にあるように、多くの民が日本へと連行される悲劇の舞台ともなった。そうした悲しみを乗り越えながら、釜山は今、日本と韓国、そして東アジアをつなぐ基点として生まれ変わろうとしている。釜山外大は、ヨーロッパが欧州共同体建設のために策定した「ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）」の指導法をいち早く採用し、日本語教育を行っている。私が釜山外大に注目し、協定締結にこぎつけ、交流を開始した理由がそこにある。

今回築いた重要な一歩を、今後さらに発展させ、近い将来、東アジアがともに生きる未来をこの学生たちの手で作りあげられることを祈り、期待してならない。

今回、このように貴重な進歩を遂げることができた背景には、様々な形でプログラムを提供して下さった、釜山外大の日本語創意融合学部の諸先生、国際交流チームのスタッフのご尽力があつてのことである。この場を借りて心から感謝したい。また、本実習に参加した学生たちが、今回の様々な学びをもとに、今後人として、または日本語教師として、日韓、そして東アジアがともに生きる上で重要な役割を担うものとなってもらえればと願ってやまない。

編集後記

3年ぶりの実渡航での実習は、学生にとっても我々スタッフにとっても久しぶりの感動と達成感があった。学生たちは例年以上に堂々と授業を担当し、大きく成長していたように感じられた。参加後に日本語教師の魅力や複言語・複文化主義のよさを語る参加者も何人かいたことが、私にとって何よりもよきこびであった。この経験を活かし、教師として、また日韓の架け橋として活躍してくれることを期待する。(森山新)

複言語・複文化教育と日韓共生の可能性

～第17回 日韓大学生国際交流セミナー報告書～

発行年月日 2023年11月30日

発行 お茶の水女子大学日本語教育コース・グローバル文化学環・国際教育センター

住所 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

電話 03-5978-5691 (森山新研究室)

<http://www.cf.ocha.ac.jp/gec/>

協力 釜山外国語大学校

編集 森山新・清水郷美 (お茶の水女子大学)

印刷 ヨシミ工産株式会社



第17回日韓大学生国際交流セミナー
(複言語・複文化教育プログラム)